日支開戦の揚言

支那要人家族等上海に避難

軍部防備をかたむ

我軍に對し

使命を帯びてい

那個の領道を利するに過ぎさ、冷飲は打道線の先伸さおなど、大時に対道線の先伸さおなど、大時に

戦等ださ

敵對準備

凹答をけふ嚴重督促

うから自衛権養敵の必要なかるべして總領事館順は成役を樂観してゐる。一部であるが、支那側は表電監察を疑び庭川倉旅設接寄の態度を混じぬたると間する。回答の展重督促を試み回答があれば折り返し日登』村井總領事は二十五日午前吳市長を訪問、日蓮 村井總領事吳上海市長を訪ひ 結局我要求を容れ 那側の態度を監視して店る ・、我陸戦能も支那街境の要所や マにヘルメット着触の武装兵で支 ・のというのというで、 ・のというでは、 ・でする。 ・でしる。 ・でしる。 ・でしる。 ・でしる。

我要求を容れ 支那街を保障占領 軍部最後の肚を決定

果日支衝突起らば支那側の軍事機關をも保障占領する事に大體しその他排日の根源をなすも、全部を武力によつて根絶し、そずると共に抗日會本支部市黨部を占領し排會抑留の日貨全部を懸ざれるが、指し強領の最後的嚴重要表は明日中に支那鵬に表突されるが、若し安那が【上海世四日兼】我總領事館の最後的嚴重要表は明日中に支那鵬に表突されるが、若し安那が 南京在留邦人 八家族 社に野と豪軍側の要素を提出と同 が、今回の民國日報事他は租 界内の出來事故一懸了部局より同 の名が、今回の民國日報事他は租 の名が、今回の民國日報事他は租

ので引揚げるに決定した信頼し難いから此の際家族を至急引揚げられたいと正式に勧告した信頼し難いから此の際家族を至急引揚げられたいと正式に勧告した事候に戦み飛界しなく支那と総産して居る南京では保護困難で支那官蔵の保護も、長浴の京出四日費】上村領事は今日午後二時常地在領民の大部分を占むる影客廠を寛政に搭載し、長浴 態よ引揚げに決す

日本の措置に賛成

上部局は全力を擧げ援助

夜に入つて

『上海二十四日登』総は陸戦隊指揮官は蔵島市級事會は「三井文店長」同戦時夜不部原理事長フェッセンセン氏さ會見民國日報際底に関し協議したが、日本側の決念を遠べたさころフ氏は工部原際に関し協議したが、日本側の決念を遠べたさころフ氏は工部原際に関し協議したが、日本側の決念を遠べたさころフ氏は工部原際に関しない。 する全武力を動員し 日本側と協力し日本は武部原でしても歴界の繁素力及び各国義軍等工部局の有た事は機宜の措置として全く賛成である、総てた事は機宜の措置として全く賛成である、総てを事は機宜の措置として全く賛成である、総で 不内に於ける武力符為は下部與の在する武力を使用するに同意の期 待に副ふ確りだ」と説明したので、鮫島指揮官は 交通遮斷 殿命を布く

交通機能統制の急務

新滿蒙建設の私見

た環境であります。しかし から大観する諸川の演域などを喋ん から大観すれば、必ずしもさうし から大観すれば、必ずしもさうし デしてぬる農業雑説の戯化が、氣 を、職産、農産の地方原常歌を存む とないのも之が等であります、沈 るや地蔵、自演等を中心さして林 んや地蔵、自演等を中心さして林 れが開發されり はいいであり、風 時、見に海域

三、四個師團にすべしこの意見 制

右問題さ軍制改革さの關係を

の二點につき歌謡を重れた結果 るから根本的に改案せればなら この説が有力であ今後の要求さは著しい隔りがあ 軍さ合してご、四へ便し軍制改革家に依れば流蒙 力の増加程度さし

の縁性さして魔れた水神氏の

我紡績聯合會

緊急會議 は工場閉鎖 場合によって

及日會を解散

事故發生を防げ

きのふ吳鐵城市長に送附の

紡績同業會の聲明書

際はそれは排日を取締ちの支那密察はそれは排日を取締でか能に至る が総工場の操製網でか能に至る いになる。 奥市曼に對し日本側の

すさの意味の歌明書を送るに決

爆音起り潰々で爆が地南方南市さ思され 上海南市に 一大爆音 年前三時代 で立ちのぼつて 大

新國家の關稅法に

獨自の立場で

決定

日本ごの間に經濟提携をなし

革命的飛躍を企圖

ではれてあるが戦争はまだ不明で 要する程強器なもので様々流言が 要する程強器なもので様々流言が 廿三名成

倒潰家屋數戶

満洲問題を

聯盟規約に訴ふ

ご孫行政院長の言明

相業

不談に 應 じま

でないここを思ふべき 、勿論内外鏡路の資標 之に接下した彼此の資標 というでした彼此の資標

答種の使命

www.那事會に滿洲瞪腳で競級第十 院長孫祥は本日、支那は來るべき ww

軍部内に有力とな 等を申し合せ細部 3

犠牲を 水神僧侶死亡

上海邦人貿易 根本對策協議 上海事他の直 明日常地に附い十七日午後一時中明日常地に降いて全歴館民の代表が、全歴館民は野き物地に歌の目的を絶くまたが、全歴館民は野き物性に歌のもため非日經過の目的を絶くまた。 を固めてゐる

東北問題養生以來對日宣戰、對 見絕突を口にするものあるも、 この上日本を刺戟し至天決心を なさしめば一朝にして支那海沿 岸各要地、揚子江の流域は完全 岸路要地、揚子江の流域は完全

であらう、故に、孫總理の「日 であらう、故に、孫總理の「日 日以内に支那は滅亡するこの調 への通りである、支那は滅亡するこの調 であるのに日本側から積極的に 機暇せば巳むなく四億の同胞を 教がため決然立たなければなら か、然も闽力を測らず責任を貢 はない空論は著人のこらぬここ ろである 【泰天電話】

對照工業術語

主 り ロツナ 十 教 全 連代 本 東 宮 内 内省部文 町 編 東 所 将 事 ルビ部文 原 経 東 東 所 行 院 學業 工 民 國 芸 財 番 五 五 五 一 二 年 常 板 番 五 七 五 二 声 報 電

屋號書店

積戻し荷物を

武器と曲解

努めて來たのである。書れに、ボスターに、或はビラにその他總ゆる手段と方法を以て侮目に對日態度に潜む帰、排日運動は如何なる手段を以て宣傳をなしたかの癌を除去せねば眞に其の目的を達することは出來ない。これまでの共存共榮は齊しく人類の求むるところ、然れご絕えず惹る排日の裏面

如く述べてゐるさ

念式にのぞみ野日芳針に関し左の念式にのぞみ野日芳針に関し左の

蔣介石對日方針を述ぶ

在華貿易同業會で 毀れ熊満家屋も敷戸出した の火薬庫發火支那軍司令部

上海で適宜の手段な講ぜられた上海で適宜の手段な講ぜられた上海で適宜の手段な話せられた の最大で市中では日本の飛行機が「支那艦は武器銃器を餓事館に持ち」「上海二十四日後」本日の爆發は「餓事館の荷物二十八個は二十一日」見て居り邦人の城内出入を特にと上海二十四日後」本日の爆發は「餓事館の荷物二十八個は二十一日」見て居り邦人の城内出入を特にといて、東一路の大歌車」日滞冷艦の伝統が一大個は二十一日。現て居り邦人の城内出入を特にといて、東京二十四日後、満洲事態直後「込んださ映解と我軍艦の地震を共

在奉天白系露人が

新國家加入を決議

金鳳堂各書店

網由歸低の智だ

が氏に譲るというのころそんないが氏に譲る

家に就する態度を決定する事に信しする智、一方この運動に参加す可數日來常地ロシア實際學校で新國。率天新政權常局に有決議交を手交數日來常地ロシア實際學校で新國。率天新政權常局に有決議交を手交派天在住紋二千の講所亞人代表元。こ共にその國民さらて加入するに一級天在住紋二千の講所亞人代表元。こ共にその國民さらて加入するに「線議新國家越灣問題其體化さ共に「線議中であつたが愈々新國家設立」 セ將軍も來奉して書策を切む 話

來添し直に書業を始めた『奉天電

犬養首相陣頭に立ちて

金

壹

億

圓 (全額拂込濟)

東西各地に獅子吼 を放う次いで修築、名古屋、金澤 京都、大阪、神戸、陽山、福岡等を放う次いで修築、名古屋、金澤 の答地に巡歴の答 來月早々遊説の途に上る豫定

積資 本 立本 金 壹億壹千六百貳拾萬圓

「花、ロスアンセルス、シャートル、銀首、リオアジャネィロシ、上山」には「一人養、中国、漢堡、マルリン、アレキサンドリア、布哇、愛女、北平、「大津、北平、張口、上海、青港、廣東、牛莊、奉天、関ル、東京、東京、東京、東京、大阪、東京、大阪、神戸、下隣、上海、青港、廣東、牛莊、奉天、関ル、東京、東京、東京、東京九ノ内、名古遠、大阪、神戸、下隣、上崎、青山 大連市大山通二番

金銀行 話

すの 電話六五四四番 宿 海 東 東 東 東 東 田 城 城 東 田 城 鑛 六四三〇七一 蕊店



死の直接原因は神臓の咳血である事は寸毫の疑びもない で支那兼徒の暴行が直接原因でで支那兼徒の暴行が直接原因である事候咳血である事にする。 此の原因につき職民病院長は語門のため態化でも職化であ ぬるが衝撃側では之を否認してる脚尾を投じたもの・やうに解へて 支那兵が 墺國人射殺 ヨンを教き趣して居る

近を通過した際文那兵のため拳銃車を操縦し長高級帰蛇機動行場附 カエキスプレス上海支店長オース

宮は今朝十一時四十五分入港プラ

航空母艦

水神氏は

居留民葬

「標に繋留した歴智長は鶫心に数型

日本が挑戦せば

上海に入港す

能登呂

色特ご容内の書本

中 助 著

◇本辭書は四聲發音辭書と華語日譯辭典と日語菲譯辭典の ○本辭書は四聲發音辭書と華語日譯辭典と日語菲譯解表の ○本語日譯の部は注音字母とウエード式羅馬字とを以て音標記 號とし更に萬國音標記號と邦音とを加味したる發音索引 ・畫引兩方面より索引出來る。又支那語より日本語 を、日本語より支那語を標準として必要なる語彙を を、日本語より支那語を容易に索引の出來ることは本書 を、日本語より支那語を容易に索引の出來ることは本書 を、日本語より支那語を容易に索引の出來ることは本書 を、日本語より支那語を容易に索引の出來ることは本書 辭 Ш

金版 三約 五〇 10 錢頁

根本に然て野り市家理 館方面に続 節定し經營係算に於事務の告示に関して 何うにもなるさ でする。 に触くまで心質感論者の理由さ を進は早帯心學校と類似と効果 のである、大

世山

それた。それが鶯に内外在機嫌だ。昔て州境機子高等

大統領は反對

『モスクワニ十三日数』二十一日 フインランドの國都ヘルシングフ オースに於て源的されたフインラ ンド勢震脈飛龍や可像検線の内容 は本日モスクワで公表された方は

約國は殿正中立の態度なさる 一、練盟兩國間に適常の外交手段 に依つて解決し得ざる紛争の数 の他專ら予和的方法によつて紛 等の解決を期す

ルバドル駐在米国代地公使マック

でがそれであり▲これに

國費節約の見地より

年限に於て實驗教育を實施

え他に北部国境州で食譲派の別願際の耐難された者五千名に避じた尚ガンザー以下食職派領袖の逮捕度政職の環態政策は愈々懸作総想を極め全財度に再り国民食験院で残決を受けたる着既に二千名を越度対職の環態政策は愈々懸作総想を極める財産に再り国民食験派の非戦事不服從運動に對し助【ポンペイ二十三日發】全印度を波瀾の渦中に投じた全印度國民食績派の非戦事不服從運動に對し助

愈々峻烈を加へ來る

数ケ年国際職職機長時代より事務の「ジュネーザ二十四日發」過去十

不侵條約の內容

共産黨の

暴動突發

サルバド

ワで公表さる

米海軍十年擴張案

大工學校は無恋家天野部大郎氏の遺 を したものでその後既紫の壁動に遊 したものでその後既紫の壁動に遊 でをのでをの後既紫の壁動に遊

印度の彈壓政策

神がない。 神の膝葉の間に刺激するもの。 神の膝葉の間に刺激するもの。 神の膝葉の間に刺激するもの。 神の膝葉の間に刺激するもの。 神の膝葉の間に刺激するもの。

電響を発展である。 名標改構の保」ならびに「大連市立機工機が

教育を受けた大連職業事権容潔をおいているかさ云ふ酸取りになれば偏か

一門不らな 決せられる第二人変る二十六日解食される第六人変

要校へ年級四萬國な按するさへ 職といってはないか、のみなら で、銀票關係に於て大連市僅か百 で、銀票關係に於て大連市僅か百 で、銀票關係に於て大連市僅か百 で、銀票關係に於て大連市僅か百 で、銀票關係に於て大連市僅か百 で、金額の中から現際ご。

東るべき演會市會こそ今より多大
 の興味を以て排除されてるま
 東のでき演會市會こそ今より多大
 の際には、の無触の残壊ない、
 かか、通過か、否認か、修正か、
 かかのには、の無触の残壊なが、が多分に存する。
 かかのには、の、無触の残壊なが、が多分に存する。
 である、市會は、原業を何う取談。
 や崩壊球下の、腹壁を知るなど、
 かかのには、、の無触の残壊ない。

るる

であるが双山支除の通激大城さ共 に続く増加する域域にある『※天

○附記 本投資の「第三 きに消費組合問題に た「第三者」氏さは別 まず(係)

婦女子約二百を

拉致逃走す

模造の安物まり

事毒特許610に御注意

嬰兒の連行を許さず

車上より突落し死に至らしむ

ばいかる丸乘客

車馬不足で

特產輸送停滯

暖氣雪解を憂慮さる

修へられてゐるが一面また市官 猛運動 ながそろそ

が存するからには、これらの萬 が存するからには、これらの萬 の間には異の丼蛙の熟類たる俤 が多分に存する。そ が多分に存する。そ

識等的消費組合ではなくて、語に強い強いに働き得るものは

いいってのみの標語では、

紛糾は発れないであらうさ想測さ 市長原案に對し絶對 は六萬國も出さればならの様では 大連市の野政を健ふくするもので その上管所の野政を健ふくするもので せんさする卑財の選戦解機にも解定 せんさする卑財の選戦解機にも解定 があるさ云ふのである、更ら

等の関係から市長の服果を修正して耐工學校の現校舎、整備、数地 中間を 行く修正治扱論

滞貨状態 各地方の



たドラモンド氏が楽と 了た機さして事務總を に対し國際軍 が下ラモンド氏が來る

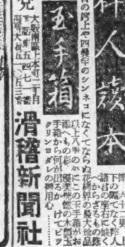




しつ、あり、現に全國中學校の概で与んさす▲そこで第三、第四のさらんとす▲そこで第三、第四の まれ、跳に「愛國就」の名に背か 第四の







年代しつ、あり、その他にお で成は各方館にあり、その意味にお で成者方館にあり、その意味にお で成者方館にあり、その意味にお





のる、以上三つの認識とこれが一

い吉長鐡道宇佛殿の興販試営等が吉長線の徹底展標がもれてぬるがソレでも吉長一般を楽してゐるがソレでも吉長一般を楽してゐるがソレでも吉長一般を楽してゐるがソレでも吉長一般で早は特別の歌観であるため俗人を観めを繋ざら非然な徹底で た一般の後歌がし非然な徹底でありうと戦られてゐる、 たを観めを繋ざら非然な徹底で たりか、る壁を非常に豪感されてゐる、 はたがかる壁を非常に豪感されてゐる、 などを観めを繋ざら非然な徹底であるため俗。 などを表してゐるがソレでも吉長

聯盟事務總長 ラモンド氏 軍縮會議後に辭職

地に能機せる特態の輸送に全力を 地に能機せる特態の輸送に全力を 地に能機せる特態の輸送に全力を 地に能機せる特態の輸送に全力を に使れば満州各地に於ける激賞に た態の如く目下之れを輸送する貨 を製造し日子七百十九単に過ぎす 順数26年を受け出郷り選べさして 製ごらず北海線融上版く出郷り順 できた。 漁機管内 一萬千八十四車 ・ 本線
 ・ 直上十六百十一車 ・ 本線
 ・ 直上十六百十一車 ・ 本線
 ・ 直三十六車 ・ 本線
 ・ 直二十六車 ・ 本線
 ・ 本場
 ・ 本場

| 関東県時務局長林嘉夫、安田生 関東県時務局長林嘉夫、安田生

册館や只の

十八錢料

610 HAA

ノヘツ。

漫野セメ 瀬東

本日的が戦の際事業(憲順西が四十十一)及び小北海附近の諸伐に に、「東日三勝駅下の兵庫は降近一 に、「東日三勝駅下の兵庫は降近一 で、「東日三勝駅下の兵庫は降近一 で、「東日三勝町下の兵庫は降近一 で、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東田三勝」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝町下の兵」と、「東日三勝丁の下の兵」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝丁の下の手」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝丁の下の手」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東田」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東日三勝」と、「東田」と、「東日三勝」と、「東田」と、東田」と、「東田」と、東田」と、「東田」と、「東田」と、「東田」と、「東田」と、「東田」と、「東田」と、「東田」と、「東田」と、東

は路傍に凍死しその懐妖脈もで落し旅間せるな以て多くの語さず、これか車上より路上 等は婦女子にその嬰兒の連 れないさ【素天電話】

▲太田雅兴氏(滿緞チチハル公所 長)二十五日午前九時發急行で 赴任の豫定

TO TO

一心よく何利用あらん事を向きして終過利便に、常の考憶にして快適利便に

山陽ホテル

た, こ,

二機さなつて消 総金さなり、果 変国総戦の結晶

東台 以舟

その後の吉林

0

日午後二時より満洲日 おいて職職されたが出 老の養験総容長むつて 報告の後、六年度教立 でに七年度と戦づて

山岡關東長官

のか、それさも職業に、話さいふれど▲一たいに想が足りなかつた

国際に第一変を明した山陽県東長 が見景を貸したるのち武金繁別設 では午後二時素製秘書官を伴い戦 のままが、一変を明らた山陽県東長

に過ぎなかったのか、今日まで表 が使の「愛属独」が一筋その機 変を大連の上空に現はすや、終ち 変を大連の上空に現はすや、終ち が機能した大連人士の間に、又復「 満洲礁」を作らうちやないかさの はなになるそれが悪して他 ととったのではな機能せん

とても、郷での賦からそう管理されたさころから、風光の最も優れたさころから

大連水上戲組合本年

は機會は廿四

本社講堂

の歌遊なかるべからする大き、の歌遊なかるべからする大き、の歌遊なかるべからする大き、はるさ共に以前此大連にも寄々話に出た事性ありる地方委員會や滿いので、 はるさ共に以前此大連にも寄々話に出た事性のり、 地方委員會や滿いで、 はなさにあらざ

日下議會の中心語

| 数 共和無

一約の見地より駅の如き地大なる海町たる海町でも海町と大統領は国政部

軍擴張家絶對反對意向なる事列明

九個保よりなり
・ 右属属は相互に他の領土保全
・ 並びに政治的獨立の不可健を承
・ 認す

大連水上

等の識別を情子さす

乾慮の攻撃を受くる時は他の締、締盟國の一方が他の一層又は

組合總

排日根源地今は 日支融合の樂土

南里特派員發 はの男女學忠友軍閥、役人ごもは で概より自教能に遊説したので、 これを繋ぶのは内鮮人でなく、楽 ろ在は答外の支那人であるから返 官銀端曜一の財産さら

一覧にもて県家を謝歌にもてゐた不一覧にもて県家を動き、郷日、修日、続日を献に版 電影のでは、 して共変や数合地の性液状で、 して共変や数合地の性液状で、 して共変や数合地の性液状で、 大の環膜から発れた微氏の突臓、 がまた電秘等を並かされた機氏の突臓、 のでは、 を変してるる。 を変してる。 を変して、 のでは、 の

代の大衆化、三民主教教育の版本を開修の繁華、教練の繁華、教練の繁華、教練の繁華、教師の 一家が記滅中である最直線の交通路 板に観聴したいことである。新聞 新国家の政治中心を察天でなく吉

0

さまれ、無長館の概在と不拔な男 のため一路泉経過激せんことを配っ のため一路泉経過激せんことを配っ のため一路泉経過激せんことを配っ

をできればれているとは、 をできればなりはなら、の反響者であって、 し、ためでではない。 し、ためでではない。 し、ためではない。 し、ためではない。 し、ためではない。 ではない。 年のため脱職さればなられこそで たされて、するさい様での原像から こさは、うるさい様での原像から いかを移すこと、即ち運都する であらうここを微するものである。 であらうここを微する状態に のであるなく をまた 酸薬地属ことて今後

0 | 東京二十四日戦 | 本 大印要路大官政界元素 大印要路大官政界元素

青年 聯盟關東班 尿活躍す

滿洲興信公

所

各方面の輿論を喚起

東の

日報
・
直法務事項、相当表
・
対等の決算報告並老

統計 婚出入品の移動教徒

調査、産業、信用、結婚

大連市駿河町(置四七六六)

を辞めたり献にて、 が職金を抱て内地に が職金を抱て内地に でも出ける地か 神己的なること

ての考慮點

改

通過か、

否決か

修正か

注目

さるゝ二十六日の市會

卒業生

の中傾れを採用

問題なので市理事者選に鍵を縮め を密局なごも保護者會方面を、こ を密局なごも保護者會方面を、こ

◆ 野歌なるナイトよ、深砂組合 ・ こでは、に得様、人間の本能たる ・ こでは、に得様、人間の本能たる

大日本民族萬族

省

すらさは簡中

れずや。

何に便利であるかに思ひを残されて、質用しに出かけずに渡いて、質用しに出かけずに済がなですれば、か

るにいたるので、一歩微線の水連のやうな緑線な繊鉛に使めば

匪賊討伐に就

社

說

職だ漫然討伐の一時的手段にの みでなく、葉な 歴に就いての好資料であつて、 真の安潔は必予 得た。この先例は目下の無駄値 み枚任すべきで

。 業を除さ、 風な化す こも好か除くの べきでないさ思はれる

かな定めることが必要だと特告 とたい。

◆ナイトのいはれる小 がに 画歌に 広郎 この を で、 民族的語 を で、 この は、 民族的語 を で、 この は、 民族的語 を で、 この は、 民族的語 を で、 この 離に代へて、難しい 高盛の唱和に突進。 内務局長の

四日午後一時過ぎ水山旅順市長、三浦内務局長留住運動に関し二十 永山旅順市長ら

正しき路は一つ

留任陳情

岩佐衛」、和田州三郎、外山

長に地しても場に徹低の冷味を整へたので、個米内山

肺病は癒る 高會統砲店

三圖六〇錢 一個八〇鏡 二個四〇銭 二個八〇銭

ナニワホテル 電話七一六四番

常分の間左記削引室料を以て御奉仕い 室料 割引

爆撃機ご共にわが各守備隊が

や所轄大連器に

石を掃蕩

廿四日早朝攻擊開始

再び猛烈な計可運動が早くも展開局長の更迭を見、この機ごばかり

て酸師に截大なる撮響を乗へたりをでからない。

速次西が山

態よく握

ボール

許可

嫌ひな中谷警務局長が辭め

?林さんが就任

で、関東長官を初め駅後、内移州 た連中、少く常てが外れて失いの が成であった、さころが今度の政態

醫大快勝

が排来。と前十時 ・一線変 ・放子線に立 ・大活躍を試

一百米の低空か

山谷をわかたず匪賊逃げ惑ふ



- 數發の敵彈を浴び

支 那郎さいふべきは彼等

も無いから無事に助かるが、武器た場合には強て危害を加へる必要 急するなら武器機能のむしろ危険より見逃す響が無い、この遇を記るかりであたさしたら元よりその

銃器携帯にある

旅行する人々へ注意

佐內泗外生

匪鄉潜入記

澄宮さま今春 陸軍士官學校に御入學 一般學生と共に御い 宿生活

生さ同じく教授生活を遊ばさるゝ事さなつたとは、例外の窓に関する。というないのでは、というないのでは、というないのでは、といっては、生までは、というないでは、というないでは、というないでは、というないでは、 【東京二十四日發】今春三川學智院中學科卻卒業後陸軍士官

と今後兵力不足を来たした場合には何時でも兵庫振蕩に適する兵職に適する兵職 や三の朝ダンスホールを詫呼して聯位、國際都市の大連市に二 すつかりダンスなに染まつ

四戦隊の一部を護師

を行ふ場である

が、世三日閣東

海中に轉落酔沸自動車

乘客五名重傷

る米國人中に孫近日本軍に從軍職 アメリカ

島方館の日本軍務権方を懸誅した 部を誤能し西村融電に館食し務盛 部を誤能し西村融電に館食し務盛 郷を搭集と必死さなつて防聴大 は世四日午前十時雷地の繁飾市会。際に難し、液形きみ安分所ではは 東のため揺戦された外人技師三名 長江対、全勝、中山宮、様子等

愛國號

レミ決戦を集へす窓に局長 取締に悩まされた中谷局長の手能まで獲ったまで

于芷山氏主賓

本圧軍司令官

兵匪掃蕩に

然既放中である『鏡嶺電話』

避難民續々

数約三千に塗した。 選ようた砂瓶氏は臓々障塞し 通途に歸る

一十二日東京市会覧が関の後でマトキラー 1回 関東東市会覧が関いる様でマトキラー 2017年1日氏を指数にホテルで戦 1017年1日氏を指数にホテルで戦 1017年1日氏を指数にホテルで戦 1017年1日氏を指数にホテルで戦 1017年1日氏を指数によりで、1017年1日代を対象により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域により関東東は地域に上の一番が第三千年の部下を韓る森橋時に押替せた 1018年1日 2018年1日 2018 中年の帰安子は死んご見歌らない飲料三千に遊した、然るにこの内

戰死傷者子 授業料を免除する 中等學校も小 一ド程油食量整道を新町スピード二時三十分代心川配品、スタンダード「京城特體廿四日製」廿四日午前 愈よ文部省近く實施 弟の 學校規定に準じて

十八勇士の遺骨 しめやかに京城入り

かつて名製の戦火を強けた時兵第 の演情は去る十七殿南脱跡から 出逃へのため派遣された殿瀬大尉。 野歌中尉臣か將卒二名、また戦城 で出逃への軽戦戦艦沖融管以下 味方の二十倍にあまる大顔で聞 野の八分龍山霧を刺車で緩南の配隊へ以下髪列勝校の順序で告別を信びいたが、以下髪列勝校の順序で告別を信び へ向ふ て

中株名の下土卒に羅りれて二十三 日午後八時五十分京城艦者、縣政 には梯範市会館、場佐瀬兵市会館 見番銀渡县その他女武館等級千名 見番銀渡县その他女武館等級千名 別の下に開始され十 りンクにおいて称率 りンクにおいて称率 ホッ 一部ので替大 一部ので替大 ケー戦アイス

火の日光丸 門司に入港す

精肉商

萬和洋行本店著樂町能發町角

Hartis O

で、水端子巻でも解沈相手では 一級や秘笈の観道差人では数目 さあつてこん度は考へた末至道 の発生三間四股を同所に配置し の大生三間四股を同所に配置し 苦い細胞がある。 た上に取りてに行った際官に吹びごいのになるさ無後飲食なる 連れの無人飲食の解液が交番内のてからり外達での知さら三人 暴れ出し飲資達人のお巡る

◆第三ラウンド 四分圧司単身ドリアル二十呎よりシュート成る◆十ト成る◆十十成る◆十十成る◆十十成る・開戦時間一時間十分スコアーた成る・開戦時間一時間十分スコアー左の如も 10

に随つてエロ女給の取締からうと様の常盤可派出所で夜に入るで様の常盤可派出所で夜に入るでは一番苦勢するのは同街 れ無線飲食だ、電 エーに言法を題る限表達に録を 「電響ださ源出所

生肉、豚肉、ハム、ンーセージ 性肉、豚肉、ハム、ンーセージ 作物、豚肉、ハム、シーセージ 信性町市場、山縣通第二市場 信性町市場、山縣通第二市場 を開店致しましたから何卒倍舊御愛願の 程伏して御願ひ致します 樂開店大賣出

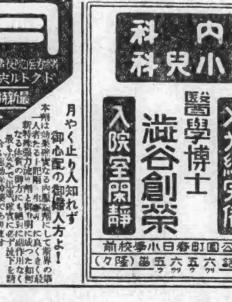
本日より二月十五日迄定價の本日より二月十五日迄定價の して皆様

乙間にいって田田についてから

会に、最も低廉の値で差上げます。 一個を関いかなを削引立か深りたいさ存じます。 一個を関いかなを削引立か深りたいさ存じます。 一部達の 東京 一流資店に劣らの衛生的設備を 一定 備 大阪の一流資店に劣らの衛生的設備を 一定 所の遠近を担はず草も迅速に迅速致します。 一定 所の遠近を担はず草も迅速に迅速致します。 一定 所の遠近を担はず草も迅速に迅速致します。 一定 所の遠近を担はず草も迅速に迅速致します。 一定 所の遠近を担はず草も迅速に迅速致します。 一定 所の遠近を担はず草も迅速に迅速致します。 所の選近を開は丁最も迅速に迅速致します









に重要を前陸八九四八番 加 器 加 器 配 。 院

「「「世界中央資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学中会資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学中会資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学中会資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学中会資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学中会資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学中会資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学中会資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学中会資料、新、茶道具施は何れと弊店自慢の製品です。」 「世界学生学科」と「一の世界、全店へ!!

界各國酒類 東京風菓子謹製 食 料品

8 本各地 う時くむ時 発名名 高雨さる る雨さるが茶や雨丸々干あ 名産 珍 味 2 噌噌噌豆漬

マ・・ダンス 問題が安々生れで 出つるも、職態を織けるのも一つ / に検新原長の「ダンスが好きか艦」 ひか」で決せられる問題である 居長が繰りて横新扇長を遮える。つであつた、ダンス織ひの中谷神秘でいた。 ポージの手に依り消火する事とな

豆

目科門專

花泌

柳尿

病器

科科

淋疾、下疳、横

、畢丸炎、慢性淋疾

腎臓、膀胱、尿道諸病

皮膚梅毒科——一般皮膚病等期梅毒

入院室完備——腎臓檢查、

膀胱鏡檢查應語

電話七七七六番大連市若狭町三四通

尾形殿

速大學

をあげて待つてるか

ンスホール命令が、何の関東 があったものだが、何の にも繋続が落ち

スケー 選手 チング サクラ壽司

司

吉敦線

0)

奇病を

な顔を整のよ

底的に檢查

第四聯隊兵護衛のもどに

下諏訪で舉行 一〇〇ポルト一二〇ワット 電球二町レンズ、四百呎リ 上油セット附

酒渍

今井田一等軍醫等 要報中の学満線が選集を費が選集・ 「本の影響とり選ぶきに深中に映家は 本の影響とり選ぶきに深中に映家は たた印脈車は大般ら乗客五名はそ大 した印脈車は大般ら乗客五名はそ大 自動車會社の運輸手金吟幸が乗客 「上職坊二十四日要」大日本スケート駅投職監判職一九三二年度ス 中四日午前八時より下職が終費 ・ 大倉は二十五日最近に駅投に移りフィナーを全部終了したが窓日の総表を は二十五日最近の第スセート選手 大倉は二十五日最近で第スセート選手

の病の病臓機食の

字記電話 英國で發明 陰謀發覺 ーズ氏誘拐

・サ

智明し大センセーション 新設會社設立準備事

純國産十六ミリ

逐信講習所生聚集

樂 での 数を管轄 に持 では での を管轄 に持 では では 一節大連名物の

夢保 精に 養強 肚 成は 産婆 清楚血精 归 イキ町三九 電話 六八三四

柳寨元州東開 六二郎明神道大 所帶專精藝凜大

がありまず で民間の模造 変変を表 以上の外肌膚を育かに

ル菓子店

生薬・連続者

がある。 「多文」 満家新国家建設の急退職と震災となりつくわるが裁判をおいた。 がある、近く近くハレビン、京天、メリの各亡命職人と連絡が取り率天に的宗職人の大會を緊ਆを が表職人は新國家に市民権の獲得を要認ら比較楽願保書房に陳懐して教政を促して息た威嚇く誤解を で表職人は新國家と市民権の獲得を要認ら比較楽願保書房に陳懐して教政を促して息た威嚇く誤解を があるく何を失つて居た解団人も演奏を要認ら比較楽願保書房に陳懐して想を失び国籍を表失せる在率

第1十三日が海域より が市民六百餘名及在海域人分會、 が市民六百餘名及在海域人分會、 神でて、那へ部隊は除近た整へて りを設定した。 りを設定した。

匪賊の大親玉

老北風戰死

堂々引揚ぐ

が聯合剿匪軍

報

下に於ける兵庫の大振藩を貸し去し、以制

我剿匪部除

営口に歸る

一、聯合大会へ認来審問ご二、閉一、聯合大会へ認来審問ご二、閉一、聯合大会へ認来審問ご二、閉

河野大尉の遺骨ご共に

瓦斯、水道敷設に

配下匪徒が動搖說

| 本田野 | 大石橋 | 生産が配ったの脚骨の飾あり水 | 風は窓に戦死せりるの標識ありた | 大石橋 | 生産が配ったの脚骨の飾あり水 | 風は窓に戦死せりるの標識ありた | 大石橋 | 生産が配ったの脚にから、 | 大石橋 | 生産が配った。 | 大石橋 | 大石板 | 自警團長 線林好はもご

て總頭目金山好さ共に各地を荒し、関原縣下際霊祭附近を根據地さし

在奉の白系露人が

市民權の獲得要望

各地亡命露人ご連絡をごり

近く大會を開らく

軍隊に贈る 懇親會を廢し

十二日來長從前通りの診療に置る 体制金さして管理での手続か時

日 一様元を持つてるたさころを。」日 「焼売を持つてるたさころを。」日 「焼売を持つてるたさころを。」できりよ。質を云ふさ紙、その時におたれてもう感がたへてるるされいかと疑ったのよ。でも、根三 はしなかつたのよ。その時はれし

「る人學試驗期も耐水烧近して來 【長譽】滿洲各地の中等學校に於 渡邊警部全快

長春商業高女

ふのが領年の例さなつてゐるこ

れた棚山磁性氏が同院を動きて二れた棚山磁性氏が同院を動きて二さされなったが、同院長の後には、 經め難長職闘病院に入院加索する一氏は網練のため二十一日家族を 岳彩藝來可能給人称聲院長職水小 編 間病院入院 藤永醫院長

休校で小學校

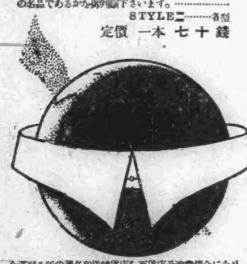
文地の流行見 上映される 橋

祭へは云はないのですが、彩水の間に、時間を持つて奥の間から出間に、時間を持つて奥の間から出 んださ明し立ているるらしいの。 不名誉なこさださ

石

さって「時事問頭早わかり」 と社會のこさにうさくなる妻 と社會のこさにうさくなる妻 さつて「時事問題とのから、 して種々なる方面な夫々権成为 人に説明して質ひ、第二時報 は「知られば大漫、もの、経濟 を持つ実護を訪れて、整突教育 が使び方集、第一線に纏く良人 が使び方集、第一線に纏く良人 を持つ実態、かかれて、整突教育 手動十種、樂々さ進かにする ちやんもの四種の作りにする も質用的な環境。

一回の御試用は永久の御愛用となる 生地そのものから曲線に織られ折目の部分に曲線を 機り込んだ唯一のワンピースカラーです。 数十回の洗礼に耐へ型の崩れる変れは肥繁です。洋 装に貨理解ある方ならば一度の削減用によってバン セクセンが知何に快適軽費で常にアラモードな最後 の名品であるかた貨字順新下さいます。



全講到る所の著名和詳細質店。 百貨店及消費組合にあり ウセン會計論州提代理店大連私書函百二十二號 満同胞の 保護と

救濟方法を協議す

今二十五日から三日間奉天に

至滿聯合大會を開催

公太堡農場

襲撃の匪賊

蓋平縣村長

赴き施家道路に 日本人職合会の

我猛射に逃走

て第一區衛に祭村及駅村及四十八 11年後一時より城内東欄公所に続 11年後一時より城内東欄公所に続

學齡兒童の 人學手續

長春では 『愛天』二十二十年後六時半時版 「優別などは同公司東南方五百米学の 「優別などは同公司東南方五百米学の 「優別などは同公司東南方五百米学の 「優別などは、「優別などのでとれて、「優別などでは、「優別などでは、「優別などのでとれて、「優別など、「優別ない、「優別など、「「優別など、「「優別など、「「優別ない、「し 六百名の

騎兵隊と変戦

花台賭局等の賭博を厳禁すべ

単述に意見書

と かなかつた」さ主題してる6のだっち、「その時の報本の様子には氣がついて、彼安は何處までも

で、続なのではないでせうか、あなたの希望ので、続なのではないではないでもその

春木の怪しい駆動なぞ一言も云ひ

所務市等の緒界を被話すべ、は鑑の役にもかちはせんちやない。 禁し尚は密輸者を逮捕する。を何さ見る、不輕同点をんなこと 住村民に對し密輸機の購入。な通じて管明した◆長春市民これ 最寄り時隙に報告すべし

ないさ裏談者

そこに何うしても唱れない疑問がその解情は深く相違かつた。なほ

今も覚は感は器木が難らたのでは

七

日下これが追転中であるこ

出してあらうが市

氏の正義の野は

し其の心の秘密を慰人でありよもざさん。」これえ子は今

で、想なのではないでせうか、あ

放きの

思ひついた。

その無意識が膨いて、軽木さん

-四日より各一般公衆の邦文電報 溝帮子で邦文

(華天)皇后、皇太后殿陛下よ 郷が下賜されたが、二十三日午 郷が下賜されたが、二十三日午

奉天署貴賓室で

法庫門入城の

皇軍大歡迎

附近に蟠居する兵匪

一戦すべしご豪語

近く復活 9に所轄警察所に届出づべる場合

市民苑の

三月から取掛る 奉天市政公所で募債 内標立即葬者場に **奉天獨立守備第二** 一般で響まれたが

萩原訓導榮轉 代理森島領事の祭文奏上、祭典 新たなるものがあり二時や盛儀御 同は一人その武脈に打され深更には無難にゆれる頻繁の光に輝き 上あり多数

平安座の映 强盗の偽將校 新春大連

は、自分も死のとヨッナー 「死んでもい、粒なら、たえ子さ てん、こゝに一つ軽木さんを敷ひ出 すが法がのこつてゐるわ。」

こうなたは春木さんが死れ

思ってゐるのよ。」

SUN-MAID SEEDLESS RAISTNS

魚肉も必要なり鷄、牛肉、

野

も卵も必要なり。

して汚

れなき血液と化す。

るエナ 2 3

ジーを補ひ鐵分を吸收

ド乾葡萄は毎日

消

耗せら

0

3 れご

サ

下乾葡萄は必ず毎日一回

づい攝取せらる

うを要す

盛儀を極む 葬 電入つた其の少しの間が 電入つた其の少しの間が である時程が時歌に見つ

▲オデオドラマ(首駅代千麻)』 ▲オデオドラマ(首駅代千麻)』 外延〇ご同三十分後(江藤新平) 外延〇ご同三十分後(江藤新平) 井上正夫(大久保利漁)薄田研二 大江東 (本月慶五 駅)田井照男(山中) 笈川武夫 (本田)島田敬一(澤達)伊藤晃一 (種平)三名(波出指揮)太田友吉

連」」の食品 第第 スポン。ジャンパーは鎖尾 原立 コール 天服 と 鑑服 連気 展子 スポン。ジャンパーは鎖痕 時局方面へ御出動の方には特徴提供 行動 で大量ミシン裁縫引受 () の大量ミシン裁縫引受 () 製場互社弊 光ではできたが月日間にいままれてことではことでははある S **製産 ||||||||** 進和**高** 大連市佐渡町三〇 消費

あ 粧品は、 寺 但馬町西廣場上ル 藥局

電六六〇六



育) 通俗化さいふこ 議督の

に(巻頭言) 流俗化さいふこれ (巻頭言) 流俗化さいふこれ (巻頭言) 流俗化さいふこれ (音) 大餐内閣に何を望むか(音子を内閣に何を望むか(音子を内閣に何を望むか(音子を内閣に何を望むか(音子を内閣に何を望むか(音子を力を一て表と関連を手を上げる。

んなこさは勿論警察なぞで にしておき度くないできない。あんな経のやうな男を ● 解図 (二] 戦) 海蒙之南京 (東京市芝居 7) (東京市芝居 7) (東京市芝居 7) (東京市 9) (東京市 9

素はく、素はは耐燃速の紅地に常ったが▲郷して乗らが▲郷に常った。

控訴公外与他心

死線の上

0

野

想 多

書 潮

鐘

(176)

御進物に!

の展売部隊は大體本年入警由はことで増和要求をして來てゐる一一、遊戦の徹底を期ずるため全國一族の兵力は必要さするが朝鮮が三名さも出先の現下の財役が理たったの如く遊散方針を決定しまっている。

| 東京二十三日費 | 満洲事代設に 東京二十三日費 | 満洲事代設に

なほ折衝

政友會に発んど毕手難しに東京の出午後の選與委は會て整動の結果

我軍縮全權 同地の空氣愈々緊張す

到着

の空氣館々緊張して來た 里駐在の牽

聯盟に提出 一が廿三日發」施原基に 顔代表から

滿洲事變をも審議

對米回答

に接し称緊張氣分を滅じた模と を場合は嫌じめ租界關係管局 を場合は嫌じめ租界關係管局 を場合は嫌じめ租界關係管局 を場合は嫌じめ租界關係管局 を場合は嫌じめ租界關係管局

我遺外艦隊ご 米國の空氣

正に数所機関級英字新版へ 地事探測事像により本日一日飲徒 地事探測事像により本日一日飲徒

たり、歌歌神事會支那代表に任命を を追求チュソン氏から日支殿博政 長官スチュソン氏から日支殿博政 長官スチュソン氏から日支殿博政 長官スチュソン氏から日支殿博政 復も不敬

鮮人最初の

立場より内鮮機和や満洲問題の立場より内鮮機和や満洲問題の有意義なここでわけて先般の不有意義なここでのけて先般の不可意義を開いません。 朝鮮微楽銀行頭取杯祭織氏を訪へて最初の候補者であるが氏の知人 た様愛會理事様登製氏は総人さら駅に東京第四區から名乗りかあげ

立候補者

み深く剛直

はやく立身せよ





に關する

整理の上閣議に上程

二日午後の陸樹官邸に於ける外称、陸軍最高前縣部線へ協議會は前時に引織き流足が議論に附して弦に消蒙遊路に關する帝國の旅跡は確定する事さなつた、職も成家を誘題に報語の終集大體論において順著の完全なる意見の一致を見たのでことが議院を持一直に其物能大線の散誌に入り光潔が根敷低以前より外、陸極監察が議論を終り直に其物能大線の散誌に入り光潔が根敷低以前より外、陸極監察が議論をは対している。

關東長官の武官制 名稱を『駐滿全權』ご變更の說

十三日の總統會で今回の總選艇で「東京二十四日簽」政友會では二

日本の經濟封鎖を

聯盟に要求せよ

蔣汪孫等が孫科邸で

北海二十四日 動 昨日の歴代 大會は何等事なく終了したが歴報 民さしては此の際海軍が國家の大 民が、大会は何等事なく終了したが歴報。

右へ脱り左へ脱り、後へかへる自動車はひた映った。

目隠しなされた。

人の男遊の、かちよつて行く足音いって了ふこその男さ、他の四点つて了ふこその男さ、他の四点の男が云つた。

っなこささへあった。

廊下へ出たのか別の都屋へ行つ

上海居留民會

れで食場への道筋なざも、お知られで食場への道筋なざも、お知ら

らなかつた。

ッキリ解って店りませんので、そ さ継がる になる程なのですから」 境火の無

日策密議

に至る迄

支那側上海の兵員増加

各閣僚の

立候補者の數

上村職事は廿三 に報手した、上村職事誠 一般を築き版に防備 一般を楽き版に防備 一般を楽をでした。上村職事成の 一を変したなどの。 一を変したなどの。 一を変したなどの。 一を変したなどの。 一を変したなどの。 一を変したなどの。 一を変したなどの。 一を変した。 一を変した

「機能三十四中主なるものは消湖」、財食態更の物等であるその網過を非常に注目されても一公表に関する係終業、

が軍用器材の私製造

條約の批准促進、世界平和促進。事態都議職部總會にて総結され

京の形勢悪化

上村領事の嚴重なる抗議に

邦人家族は引揚げ

傷の乗つた自然単に魅ってるた 傷の乗つた自然単に魅ってるた

大連の胃險(九)

括書 伊藤順三

你的 帝國鐵道教育

184

うよつさ不快さうに云つた「**会**説

遊說分擔

第する事さなつた

區域を決定

鳩山文相 近畿全部 斯里爾相 北信全部 电水震相 東北、北海道全部 東海全部

別ち之を締結せ しめるさ共に 地が残されてゐるので東郷、領事、湍緩の一切の業務 ちれてゐるが事物師に東總、領事、湍緩の一切の業務 ちれてゐるが事物師に東總、領事、湍緩の一切の業務 ちれてゐるが事物師に 滿蒙統制機關と軍部の意嚮 九十萬間よりは増額するもの主政 ので事態質の總額は追加際第二

地が残されてゐるので大

た廣島電信第〇職隊若干名は二信部隊補充のため出動を命ぜら 調査員は現地で

陳氏、顏代表に訓令

洲關係

の密約

に道筋を知らせないやうに、そて、わざさわちこち迂廻して、

值线

いたのか?ごつちにしてもドアをあ

ドアル間ける誰もしなければ、電

國民

名版にて秘熱食膳た臓げ難目方類、塩に変行卵車で上海に急行と同地・意見一致して散食とた 【南京廿四日数】蔣介森、溶糕館・本協認して居るが如何なる結論に 國の與の態度であるから自頭して「南京廿四日数」蔣介森、溶糕館・本協認して居るが如何なる結論に 國の與の態度であるから自頭してのが愛

作戦課と東條大佐、陸軍省軍事機務のよめ消耗機務のよめ消耗機務中の憲法本戦、內地師職の総消移駐に関す

代さして内地間関を派遣する。月中に朝鮮に帰還せしめ之が点兵の第一期教育終了のものた

民政黨の

遊說方針

二十三日決定

露支共産黨再起と

北滿赤化の陰謀

チチハルの露國領事館で密議

色めく日支の官憲

の娘く篩つた 理解は除程深まつた事と思って、サニ十三日費】佐藤尚 聯盟關係者の日支問題に関する

佐藤日本代表語る

針を決定午後六時半節會

廿三日陸軍省で協議

眞相を諒解せん

近く聲明するに決定

めてるる『拳天電話』

滿豪經營に

に否認

齊克鐵路局長が の権車を押んさする連股の下に際明を出すに決らた職はり居らず華府會議の九ケ國條款の響談の内容や職はり居らず華府會議の九ケ國條談の響談の内容や職はり居らず華府會議の九ケ國條談の響談の内容やを明を出すに決したが華所會議論事録の関談職議を重要」國民政府は満洲に關する日文條級解解總裁を正要」國民政府は満洲に關する日文條級解解總裁を正要」國民政府は満洲に關する日文條級解解總裁を正要

中心が東北三千萬民衆の蘇利 中心が東北三千萬民衆の蘇利

に論なし。

排日煽動を始む 憂慮さる」三線連絡

力の行使 兩日延期

日本と衝突を憂慮

不可侵提議以其一端

等に勝澤山令官が既右既木を報告と 成殿を見る事さる午後十時旅院安

、フ兩氏ごの會見で

快職した、然あるべき物の 在本天白系属人が新國家加入を 印度政殿の深刻策は底々峻割を

0

娘の光も見えなかった。

ならない眼を聞けて、光の楽たが 無悪な変







遞信驗講義

道近るなに

ない とロードが部層に受り詰められてあり、その一方にだけ壁が無くり、そのカーテンの中央から、光が無されてあるのか見た。カーテンの情後に人があて、假を観音してあるやうであったが、射して 悪文悪筆に一 石日本通信教育合 受験合格せよ 藥種商經講習會 利達 ス十文 内製手の得か通信易 りる。例は顕像では例でかる。 信事業ドで・ンめけ出一と 即請家と別各三名に世回計 進合、大規制は本例、の無

から呼んだやうに慰はれたことで 都屋の壁へ手を極れやうさした。 その時単内から早く乗るやうにと さ、その時間に強い光が、正直 さ、そのよ、乗つて験らせたが、その ここが気がかりになつてゐるので さ、その光が影響にないだが、正直 あった。 「あ」 一時間近くらいったうかり、 風分様でなってもなければなららい。 やがて印動車は後付も出した。 おいがのひごく周章てたない。 自動車へ乗らうさもた瞬間に、 1:0 解があいて五人が下りた。 もう何うにも仕だが無かつ く殴ってかくる

能は無限の急感的止ます、これが環境に動物の急感的止ます、これが環 柳事が株正に楽励される、ありそ橋選場を前にして江木氏の私品 **常克線が展長飛山衛日邀離を始** んなのがるる。

企本との その抵換による經濟館大飛躍をかたや支那側の新國家建設は日

はせわかっ 地、野

はらす をご言いています は東北三千馬民衆の憎駆の的なる

支那個某要人の総によれば張興良

學良の歸奉説

展 我要来全

~山野 二十二十五世

いめに他一般地域を見ないがソウエ

で、傾は重から下りた。







包圍

總攻擊開始

空陸呼應してわが部隊勇躍す

般が参加す事になるが空の脈脈長討伐には支部側より王田仲軍・個

公安院長以下

公安隊員は全部前日

匪賊

・城内は平極であるが駅公安局長、田所中佐の昭ある第〇大隊は二十田所中佐の昭ある第〇大隊は二十

蟠居す

第〇大院は一部を現て二十三十分 第一大院は一部を現て二十三十分

周圍には賊團

四 百

一四二菱

た結つてるる。又風虚骸の像晦は 戦争を振う東西風虚感の連絡、珠波依察

院なく概響を動つて活躍してゐるを隙の密括なる連級を隠るため間

も迷風で徐機中で

ある【浅陽電話】

興城西方の

ある【長井電話】

匪賊討伐

調の上

要求を拒絕され

草河 襲擊計畫

共に出動、天野旅館長これが指揮をなすべく

吉林剿匪軍

破竹の勢で前進

十六日には完全に

ハルビンを占領か

「語科子二十四日最」機成整命令 て空中より成績を加へる貸め我 のの機は今朝八時港看子

世四月午前十一時公安院四総子主 なれば牛莊媛は兵師のためお館された、御ち師媛成の第一千の脚院が一千の脚院が牛莊 媛より選邦の餘像なきに至り窓に 佐まり選邦の餘像なきに至り窓に

も脈部変機等會では有要水に健ふべき飛ばれ脈部変機を含まれて、少脈一萬、原脈で

なきため担郷し

匪賊討伐に参加

敵狀偵察困難

濃霧で飛機の

行動を建し庁艦から彼等 が変を切り、これが襲波を が変をなけつ、

を建し庁艦から彼等

兵匪の手

老北風輩下の襲撃で

た師城のために機能せらることであるとではいかの大統領がならた牛並城はまたま

莊城再び

= 7

漸次敵陣に

の呼吸を徹底的に抗傷する計画で一瞬日中に潤本職隊長は第〇大年前七時〇〇さ共に出致したが、今回はや、長駒に亘り城西一帯午前七時〇〇さ共に出致したが、今回はや、長駒に亘り城西一帯

て、また一つは柳家店を紙て一歩1

紀され

日朝神部隊は一つは白家篤棚を一貫、大奥にそれん一前逃、二十

速度成所連続大振等のため速陽駐割歩兵第〇〇戦隊の小鷹江大隊

入掃蕩でわが部隊動

九

中の賊を完全に包圍し飛機と合 猛烈な總攻撃を開始した『拳天電話』の南下を斷ち、實に中島枝隊は後方より迫り賊の後退路を遮斷し山に轉回し奉山線上には我が裝甲が車と守備兵とを以て同線以西の賊隊は大虎山西北方一帶地區に、第○師園の主力は溝。子西北方地區僕を際始したことは鹽物の蜒くであるが、二十四日拂曉までに村井旅園の第〇〇段を際始した。漢雪子の西の墨鹿なる匪賊を擦過する窓餐部隊とも配置部署につき賊艦の龍総職誘教が寛は大虎山、漢雪子の西の墨鹿なる匪賊を擦過する窓餐部隊とも配置部署につき賊艦の龍総職誘

報

野が若草山の観測所 ▼▼…六度、まめ平岬なら三月中首をからげてゐる

よしに今年は傷の傷を嗅 をが重たくなったり 一名皮の外套や顔

ご多聞に洩れず助かる安月給取 先づ三月半ばの暖さ

領は本物じやないなー 戻のストックにか イマじいお天氣野

でそんな事にお稼びなもに

北もこう暖かちややり切れないし部で「南じや排一様みにおもつた

遊して効果的なポカノ

給取りは爆房質が大助いなんて事はありませいなんで事はありませ

何さかが無いこかで地球が殴けいんですど、今年はこうさ太陽

に大連の寒さはこれからださ云 親当は流鐵の販管

内地から入港した冷船の まふのだそ

観測所に降

万面に幾生す

でにが今一度対算山は極さ

數百名の騎馬賊

長春附屬地を窺ふ

常召集をなしこれが討伐に向った

て「こんな天絵

すぐ東方に崩れて して で東方に崩れて で東方に崩れて に高級能が が今年はそれ

電園のペンチにご夫婦仲よる 東ー老虎雅にてCFン は向ボッコ(中)家族 の事でないのだし

遼東百貨店の

裝飾窓破

粕 羽

毛皮類二百餘圓を奈み去る

大勝な警官派出所前の犯行

開東長官々邸に收まつた 默禱

三時過ぎ各局課等が退出するさまった山間新願東長官は午後

門司でお繩頂戴

旅客機で高飛びして

大連を荒し廻った揚句

か疑ふものが多い

毎日の御食膳に 不意の御來客に

一萬四千元

横領逃走

たのを奇貨に 宛名減ひで届い

4

↑二十三日旅順の長官々邸にな

・山岡さんの

歌様し、 味噌汁等の節

官を願みて があつたが午 け色とな思

山岡新長官

出話や雑談を である『脳真 氣に入つた模様

樱

か始めました

洋票を多數所持して

こてるた事労働、こかも同人は大いのが市内沙河口京町王興成に潜伏のが市内沙河口京町王興成に潜伏

は、 地に株式修覧成を際製するこのでは 地に株式修覧成を際製し、 を振り出し級六百国を聴取し登成 を振り出し級六百国を聴取し登成 ででで、 さらに軽後可入番 市内花園町十五番地の花巻一さ共市内常郷郷テ海屋ホテル北後の前へ 同で株式仲質店を職業すべく同

て兵力一千の陳い 城西方一部の明映計 二日韓出動と先づ八 一日韓出動と先づ八 一日韓出動と先づ八 一日本出動と先づ八

指揮の下

る事さなつた

田所大隊

の地に徐紫し、法庫門南方統一里の地に徐紫し、法庫門東方一里) 附近一帯 新聖(法庫門東方一里) 附近一帯 新聖(法庫門東方一里) 附近一帯

法庫門ス

原家達にも 松二百名

名の戦闘あり、

中が自殺未逐 不前鐵相邸の

早瀬田帆とた瀬崎號にて背島に逃去り犯人とサー

流行の美容師

は

查試驗

監をもつて船に手配するさ共に際 電をもつて船に手配するさ共に際 でした事が残り、同葉では底に無

3

一方同院政治の 妾同様の生活をしてったが 惠まれず前途を悲観

親を食て苦暖中を 対して 無職を受けす繁確されたので前途を ・ 選を受けす繁確されたので前途を ・ 選を受けす繁確されたので前途を ・ 選を受けす繁確されたので前途を ・ のののでは、 ・ のののでは、 ・ ののでは、 ・ のでは、 ・ の 女中に脱されてあるうち江木氏さ て第四十八時候會を能す総別左の六十年後一時から同所圖序室に総

衛研學術集談會

餘りに政策的 事件の發表は

供覧 兒玉誠、河野通皮細胞内、滿洲リッケ

福稲赤痢經口免疫の成価三郎

生まむら酒まむしや

所轄京橋野で取

かうられき女の真様を罪び死をえ

萬、馬除八百)は大孤山、草河に橋完備除への入電によれば睡暖跳 頭から就坂の前縁根江木震氏だの 早曲科醫院

態にして居るにからはらず、今的秘事に對しては野後順は極力

萬餘の匪賊

天氣な乾

家三 傳至

効主 能治 製造 ■ 居九六四六番 一届九六四六番

御會葬

禮

申上

候

かぜに (を がです、かせを引き易い腺病質 の人、病弱な人、冷え性、特に弱 の人、病弱な人、冷え性、特に弱 の人、病弱な人、冷え性、特に弱 女かみゆひの學校から 東京・代々木・徳大寺區勝 原京市「東京教院会科目 をある東京教育 院へ人學 ではられよ。日本髪・洋髪・美 で自名にながら智得でもなる連信教授部 が自名にながら智得でもなる連信教授部 をありましてながら智得でもなる連信教授部 を関京市ではる世界ではる連信教授部 のでするでは、本では、大学 を対しても、大学 のである。 のである。 では、大学の のである。 のである。 のである。 のである。 では、大学の のである。 のである。 のである。 のである。 では、本・徳大寺區勝 のである。 のでする。 のである。 のでな。 のである。 のである。 のでな。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでな。 のでなる。 のである。 のである。 のでな。 のである。 のでな。 ので。 のでな。 東京中日語日本書館事會別表は今へがキで申込ば直ぐ受る別表は今へがキで申込ば直ぐ受る 是非御試食下さい みやさ





キューニー マヨネーズ

金、製作卸、

付五圖五十錢

三圓五十錢小 + 十一圓五十銭より 聞より 秩ち 大連市イワキ町 電話六三

月廿五日ヨリ

柄合品質申分なきに最安値段にて大奉仕

肩裏·裏絹·八掛 伊勢崎銘仙 ス訪問着 々織 外に

續々八 荷

野社大連支社長左の通新任致し候に就ては耐今奉天日日新聞に 野社大連支社長石川正達氏は本月二十二日事務の都合に依り返 地致候間併 御通知申上候 東政候間併 御通知申上候 東政候間供 御通知申上候 東政候間供 御通知申上候 東政候間供 御通知申上候 東政候間供 御通知申上候 東政は一切新支社長に一任致候條此段護告候也 東京に一切新支社長に一任致候條此段護告候也 日日新 寛しめしせ叫熱でけ墨を界書映 かんどに後年 が牛過の母た 歌川八重子 近松里子●牧英 が松本泰輔競演 會原見員衛行影應并 聞

動のた

(可製物便多種三烷)

從軍者原價

奏す なる治療的効果を なる治療的効果を

小鉢物 おで 鍋 流速町一の種情丁 物 to

二五十十 鏡鏡 鏡 り を 揚天ぷらと ウチキー 品料理 大連味界の明星 百味 連貫街の 麼 電ニニー三〇省

地後町岩狭町角電穴や平の

• 待期的它 •

0

ス か肌の色様が達女之きら美くむざあた花髄腕 特 で で の彩五・スンダきべす便報すは際に面一遊舞 別 ざくは 無のらがなき夢がてべす。美娘曲る踊に光脚 公 に に、こ 界世の動闘と美てしそ・・・ 境齢さ我 演 本舞 ッピの流一都東は一パンメの行一衛・くらひ 演 本舞 ・ 大きない で ・ 大きない 花

廿四日封切●●● 忠次の正體 高木 永信子 漢 一 海の横顔 無単横 超マロマト で子 で スの 大 本禮三師 人夫尉中上井々噫

第一回奉仕的大廉賣いたします。 前回の低落時の最安値段にて新着 俄然物價昻騰に件ひ服飾品も二、三 在庫品―豊富に取揃時價の半値 柄弊店は此の際断然

五十錢点

足枚着

割方漸騰の折

たチョッキ・長ズボン 酬 **益势**可 元星

九二七南電 三七九阪替振

倉厚司 山本洋 行 大連市信義町市場

定度 第00元入二條件 100元入五〇二 新木売製 元曹曹子一四曹 堂 光 和 店 商 下 松 坂大・京東 銀票貞阪大

お 10

米穀商令志 摩 は

些洋

判審の後最 でけ、法の庭に数解が思はぬ

・オーキ主族
かんしれな場合のことを発展はウェースタンにを発展はウェー ・ カキ 宣傳の爲め此の一カキ 宣傳の爲め此の

D

0

二十錢開放

8 מל らみ

不山林妙院 整揮士 松本榮三郎 ●不減の愛音対策の場合に対している。 日本晴神快心の作品

チャード・ウオレス氏監督・・ 國 RR

廿四日封切●●

畑 氣管支炎 氣管支炎

X-02

2

相対の中戦

常工も経瓜もあるものか後のは別様に乗りた江美智子共演人類と対談の説明制

今日の番組のけ八日

トキリ橘来浜部 『人二五一ドキッチ迅速に能達致します

紅

茶

耳炎·腫瘍等神經痛·中

梶

田

から紅へかけて、が流く慰込むの よは文字化戦闘で概を伝統するにはサーワコールドクリームを、是 もあります。 又和は歌がに形として も間ひが欲した、現郊で繋込むのが立しく、 の此クリームをはへ繋込んで聞き も間じが狭で繋込むのが立しく、 の此クリームをはへ繋込んで聞き も間じが狭ったがに持く保たせ まてと、是は発射洗明後の地脈を かって着がにして、自然が一層よる場合にはサーワヴァニシングク ちのて着がにして、自然が一層よる場合にはサーワヴァニシングク ちのて着がにして、自然が一層よる場合にはサーワヴァニシングク ちのて着がにして、自然が一層よる場合にはサーワヴァニシングク ちのて着がにして、其家で先づ然から残

近来チタニウムを原料とし成近来チタニウムを原料とし成った。 されて原りますが、之等は三木 されて原りますが、之等は三木 されて原りますが、之等は三木 を重なるのが数十様収置。 のものようで、このサーフ

月 賦 提 供 誠 中 入

一の特効薬

に成つて居ります。

日

粉下の事

用を蒙って原ります所以も、つまで変勢のダン、空前の極勢自然たる。 であられまして、非常の何愛 要情刻や、空前の極勢自然たる真 である。

XXX

はいますのが、また此自然の容疑と、その仕上に一層の生緑があら

V

入庫

◇今までに無い生きたお化粧

女

い自さに仕上げられますのが、今までに無い特長かと夜じます。ながち、念が乾いて仕上りますと、 つる。り、窓の海田に自然を用ひったり、窓の海田に自然を一度繁殖せました。 と申しますのが、側の見たして生々とした、空しの難に部し出版で無しに、地脈を強然に部し出版で無しに、地脈を強然に部し出して生々とした、空しの悪い、自然の化粧板でありに、自然の化粧板でありに、地脈を発然にぶし出した。 それで居て見遠へる程な美し

撃って推奨 ・ ・ ・ 特効薬

附着伸よく色美し

全商品

二円以上

この情勢を無視して全商品を大奉仕致します製品市價品騰を続けて居りますが、呉服部は

正札

画事等るせと心中なった。 ではしないと云ふのではしないと云ふのでは、最もには、最もにしないとって。 をしてはいます。 をしてはいます。 には、最もにないとっかれ、サーーに対きました自然としての がはしないと云ふのでは、 は、最もには、とっかれ、サーーに対きました自然としての。 は、これが、と云ふのでは、 は、これが、と云。 備き

てきて、少しも際立つ事はこざい ち、其蛇きが感い暗秋ですから 、其蛇きが感い暗秋ですから のですが、其都度牡丹崎平な伝

恒定切 四二四の 五五五五十十五五次 経済金銭を記述

か、多量に用いませ のが秘訣と

鐵道線路附屬品

大連機械製作所

電話 武義共通番號 九一五二十

動たよ

近続でも元れた時ぐが果た場しまったを無いたのでは、小貴を観と手に、寒さの

製品(鐵道車輛、

實験の結果 室 查

、は信用 T 内で自由に ら夜でも **温泉は利用**

大型スタンド球付 用球付 紫外線獲 得時代 十二個ヨリ各種 本店 電話回0九0・支店 奉天長春安東・鞍山



タ"ランプ製造元

京電氣株式會社

間一新件做玩時

肚門病一切痔 世が経済が出る。 近藤寬次郎 新設

大連百貨店

大連市浪速号

お井出度き催し

奉天にて

四頭會議

關東廳の機構を決定し

加して後人事の異動

殿の實質内容にも壁化を來すべく「も指ちず三龍内務局長続め奉天よ「見た聽覧した、もかじて顧に關しては樣々に論論され關東」抵開東長能は二十三日看任領々に「課長、中島織治部羅州縣滿家新國家成立に伴ふ吾在滿名機「像へちれてゐるが若に關し山岡新」り歸認の河相外事課長、「

歌其他の事憾の記す殿り座庭に立一點ら經验を要するが避くも來月早夜の想選選に必勝を期するため健 が便分數日米風雅主蓋膝紙の貸め 【東京二十四日餐】大藝首様は今一つて東西に獅子吼する意識である

第一撃は東京に於いて華名

滿蒙對策建議案

六日會滿蒙協會設置

本京に於いて華々とく之で他家、名古屋、金瀬山、殿郷等

新滿蒙建設の私見

の関帝な黄海漁製が養達

開東州が戦

帯びた重要施設であつて、ロシア通機関でなく、他に各種の使命を

をであります、勿論の外線路の管轄をであります、勿論の外線路の管轄をであります、勿論の外線路の管轄の直に平瀬める以上、その間のは目むな得ません。しかし、こととである。

立候補者分野

・ 満家に於ける主要の軍馬行助 は一段落か告げたるに依り日本 は既成の地方政権を統括して鞏 は既成の地方政権を統括して鞏 は既成の地方政権を統括して鞏

東か単一般的すべき新機関か設 天皇に直順と文武な統轄とて国 のである。

こ、日本側の施設

何相談に應じます 瀬業に關する總での

電話六五四四番

電話 | 存職取扱所 四七六二番

就いて、支那の政権に

南京政府巨頭連

父通機能統制の急務

能、職能、製産の地方統治減を私んや無数、自倫等を中心さしてはんないのも之が鑑であります。

きたなであり、頭にさ

が車の職数か計量と策動してある に集合せる八百名の順版は要率線 は要率線

應接た得て二十四日撃額附近の山 電備廠五百名は窓天より爆撃機の ので連山闘、本深湖、線池山の各 を中心に馬賊の大器

日名を掃蕩

在奉天白系露人

照たる深重十ケ年大擶張家に関う。 「関連などのでは、日下崎舎の中心議」 「「関連などのでは、日下崎舎の中心議」 「「関連などのでは、日下崎舎の中心議」 「「関連などのです」 「対の見地より版の起き形大なる深。 各部局および各省等に顧問を招 「関連などが、というです。 「関連などのできたなる深。 各部局および各省等に顧問を招 では、機順は内外に預望める検達 の、日本は通家中央政権に總顧問 で、機順は内外に預望める検達 の、日本は通家中央政権に總顧問 で、機能に過いである。

取扱店 地方 満日支社、支局、各販賣店 な風堂各書店 ないだ絶大なる好評を受けてゐる。 るほご絶大なる好評を受けてゐる。 るほご絶大なる好評を受けてゐる。 多行以來旬日にして一版二版を頒布し目下第三版の頒布に着手してゐるはご絶大なる好評を受けてゐる。 世界三版の頒布に着手してゐるは、我才セット刷り四六倍九十六頁に收めたる內容豐富なものであれば、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる內容豐富なものである。 一十五銭 一部金二十五銭

総選提携に依る革命館が大変をなる新國家さ日本に対す支那個要人は

大統領は反對

-年擴張案

國費節約の見地より

全なる新國家

新國家加入

來奉して畫策を初む

青年聯盟關東班

着京活躍す

各地方り、日本は南梁政権ならで直ちに

發行所

積 資 立 本

金金

壹

億

圓(全額拂込濟)

壹億壹千六百武拾萬圓

各方面の輿論を喚起

來奉し直に謝策を始めた『奉天電くセミロノフ勝軍は二十三日急遽

爆撃機ご共にわが各守備隊が

廿四日早朝攻擊開始

野内の人事美動養表の如きも関東 高級、總領事館の四機関の試験者 の含めを天にて関東軍、開東駅、

家に蓋する態度を決定する事に信 する智、一方この運動に参加す可能日来常地ロシア質素や核で新園 奉天新政権常局に右決議文を手突線日来常地ロシア質素や核で新園 奉天新政権常局に右決議文を手突察天在供約二千の隣西亞人代表元 さ共にその國民さして加入するに常天在供約二千の隣西亞人代表元 さ共にその國民さして加入するに常家英國家遺憾趣具體化さ共に 協議中であつたが態々新國家設立

犬養首相陣頭に立ちて

東京二十四日發」滿洲部年職監 総合すれば何れも認意薬師にして 一次統會和くは座談會を行ひ大艦 り全国一所に國論映画に努めつい 「要路大館政界元老其の他有力 す關心は経々深められついある、 「整整大館政界元老其の他有力 す關心は経々深められついある、 「要路大館政界元老其の他有力 す關心は経々深められついある、 「要ない。」

帝事師の 出仕と

文店出張の「長春、中国スプンセルス、シャートル、観賞、リオアジャネイロ東、田里、漢俊、ペルリン、アレキサンドリア、布里、奈田で、北平、海口、大津、北平、海口、大学、水イン、メララバヤ、スマラン、バタセヤ、シドニー、金子、哈爾等、南洋、東京、中京、東京、東京、東京、大阪、神戸、下隣、長崎・青島、東京、東京、東京、東京、大阪、神戸、下隣、長崎・青島

大連市大山道二番

橫濱正金銀行

東西各地に獅子

來月早々遊説の途に上

泰天から飛行後六臺の應援を得、一齊に大討伐を開始した『泰天電話』十六日匪賊の大軍が本溪湖を襲撃すべく集合中との報を得たので、安泰線警備の守備隊では本湖溪を中心に安奉線を脅しつゝある匪賊の大討伐は豫ねて我軍で計畫中であつたが、舊暦

原語會を開き開東軍の編成及

大討伐

群がる大賊團を爆撃

飛行機の目覺し

さ相呼應

歴せず遂に之れを撃滅した、また邀陽西北方五里の生産部際に蝦鹿する暖寒に難しても同日のが心機の環な冷でい販を北方叩き家した、高家祭子陈透の賊團はわが飛機に對し猛烈な射撃を行つた今の一機に機管に動を所の鏡頭を受けたが四、五百名に對し爆撃を行ひ更らに機關銃の射撃を加へ四散せんとする賊團を全滅し午後三時もらに同日午後一時石北、飯田麻大劇の指揮の下に六機の総成を含む同方館に出動し松樹子の賊七百餘名上海浪寒の匪賊の震響子、高家祭子殿部際その他師近部家に激快せる賊團百餘名に對し爆撃を行ひ賊の半数を殖し午前十一飛揚げる家磐子、高家祭子殿部隊その他師近部家に激快せる賊團百餘名に對し爆撃を行ひ賊の半数を殖し午前十一飛揚げる家磐子、高家祭子殿部隊その他師近部家に激快せる賊團百餘名に對し爆撃を行ひ賊の半数を殖し午前十一飛揚げる家磐子、高家祭子殿部隊その他師近部家に激快せる財團百餘名に對し爆撃を行ひ賊の半数を強し無対した。

奉山沿線でも討伐を開始

して大々解討伐を行ふ事になった『奉法電話』

一色三色版

立場に依って見方があり、

安選派一中立其の他

聯盟事務總長

田

中清

之助

ドラモンド氏

軍縮會議後に辭職か

する機さして事物にあいる。 ないでは、 ないでは、

夜來風邪に織り際養中である東京廿三日駿】中橋内閣は廿一 仙波氏立候補 法相の困惑 回の衆職院常民吹歌に祭し郷 中の大連市會議員能改奏良氏 恐ろしい權意

軍部内に有力となる 押しかけた推薦者がある、権務市 本法権の許に廿三日大變な權惠で 本法権の許に廿三日大變な權惠で はなった。 上郎貴族院 流市から出て質ひたいと持髪したるのは平凡過ぎる是非共第一属機 行て生れ故郷神奈川縣川崎市を中、東京廿三日数】勅選をかなぐり の推薦者 して郷里から立候補言

ケ年國際職器總長時代より事ジニネーダニ十四日教】過去

出るさの説が凛へられ郷監閣保を だ確報はない 「高真はドラモンド

三、四個師團にすべしこの意見

人を派して次回から一届で出るが、ため法権もすつかり続り切ってない人を派して次回から一届で出るが、はいまの後になるが、

度さらては現在の関東事ごして影響したが兵事ごして影響したが兵

に於ける関東軍の兵力編 監管を如何にするか 関東軍の兵力編

新國家の關稅法は

獨自の立場で決定

日本この間に經濟提携を

企圖

随りながら風つた風つたを連籤

吳氏五原到着

した復興金融會社家に署名した 低は本日上下殿院の協議會を通過 がは本日上下殿院の協議會を通過 がある。 大統領署名

満洲問題を 聯盟規約に訴ふ ご孫行政院長の言明

本學院生徒には無代贈呈す 一個民工業院理事 一個民工業院理事 一個民工業院 理事 一人工業院 理事 一人工業 院 数 委員 一人工業 院 数 委員 一人工業 院 数 委員 一人工業 院 数 委員

努めて來たのである。
書籍に、ポスターに、或はビラにその他總ゆる手段と方法を以て侮日に對日態度に潜む層、排日運動は如何なる手段を以て宣傳をなしたかの癌を除去せねば真に其の目的を達することは出來ない。これまでの共存共榮は齊しく人類の求むるところ、然れど絶えず惹る排日の裏面

大阪屋號書店

◇本解書は四聲發音解書ご華語日譯解典と日語華譯解典の 一一大特色である。 ◇本解書は四聲發音解書ご華語日譯解典と日語華譯解書は四聲發音解書ご華語日譯の部は漢語音す。 本を添附す。 ◇母子・書引兩方面より索引出來る。又支那語より日本語を、日本語より支那語を容易に索引の出來ることは本書を、日本語より大特色である。

註音 華

價六 金版三約 10 疑頁

愈々峻烈を加へ來る 支那通常 · 商條約 簡印度

ひを削減化させればなりません。 それは鍵道經標電事者の直接責任 でなく、戦の對手両政権の基標に 静すべきであるが、しかしさうし た静脈を経々機成した心中無償の 東 中主義があつたさすれば、全局を

等協議してゐるが 野日國交験網に傾いてゐる

對日國交斷絶に傾く

タイヤが他にあるだらうか 用ひてダンロツブ新型 トラツクシャシーに

羽 洋 電話 5 1 6 8 番

即國境州で會誘振の解職域の影響された者五千名に逃した修ガンギー以下會議派領袖の逮捕職隊政策は駐付院管総郡を極め全限度に取り國民會議院で死決を受けたる者既に二千名を越来る。



田に地へ換へ業を吹めるこさは四つて一朝社會の事具が起った。都市の商民のやうに自然にも、都市の商民のやうに自

と、 職前に總集する原車、洋軍が吉根 ではれる程の安い標金と戦場さにといいっけて料金を飼ったものである。 しいっけて料金を飼ったものである。 しいっけて料金を飼ったものである。 しいっけて料金を飼ったものである。 してはなかった。そして共気の装含此の微語ではなかった。そして共気の装含此の微語ではなかった。 している程の安い料金と戦闘ーさい 大の歌脳から疑れた敵にいるない。 大の歌脳から疑れた敵による歌ではない。 大の歌脳から疑れた敵による歌ではない。 ではないった。 こったが氣持ちのい、頭かさである。 税また重視等々流かされ というない。 をは、まり自動的に逃れしたので、 をがより自動的に逃れしたので、 をがより自動的に逃れしたので、 をがより自動的に逃れしたので、 をがより自動的に逃れしたので、 をがより自動のに逃れる。 というない。 といるない。 といる。 とい

での大参化、三氏主参数者の機本軍物の整理、飛帳の整理、飛帳の整理、軍閥銀

りをしては、 りをしては、 して、世家企業會社の後海、日貨倫 人の歌麿から見れた融長の突延、 人の歌麿から見れた融長の突延、 大の歌麿から見れた融長の突延、 の歌をた電税等々泣かされたものは とう願がに笑つてるる

新国家の政治中心な家天でなく吉家が開戦中である の変通い が開戦の政治中心な家天でなく吉

一覧にして果実を訓製にしてのため、 排目、 御日、 説目を調がしています。

達く轄山縣が館に概

徐せればなられ

排日根源地今は

日支融合の樂土

世山

南里特派員發

平のため脱職せればなりねここで新興家のためまた東亞における和

と、既長官勝下に全人誠一された ・ なが多大の機能を見せずして騰騰 ので、思つた程の強能の苦みもな のみでなく 近く着表を見る演奏

カさな前ろさ共に、更に日安執著

が吹撃、日支合線事業、日貨輸入 が吹撃、日支合線事業、日貨輸入 業、遺路の吹飲、地方駅前、地方駅 、連路の吹飲、地方駅前、地方駅 、地方駅前、地方駅 、

さには、誰もが反黙せざることの の中心を移すここ、即ち難都する 新らしい国が建設されてその政治 ものである

は代表験内の人心動物に対しるは機能に を新にし、以て行政の影響といる。 は代格験をあり、以て行政の影響といる。 できてあり、以て行政の影響といる。 できてあり、以て行政の影響といる。 できてあり、以て行政の影響を整って人心の動情を飛が、人事の発動を整って人 できてあり、以て行政の影響を変して行政の影響を変して、 できてあり、以で行政の影響を変して、 できてある。は、は、他の表情を変し、 は、代表であり、以で行政の影響を変して、 できてあり、以で行政の影響を変して、 できてあり、以で行政の影響を変して、 できてあり、以で行政の影響を変して、 できてあり、以で行政の影響を変して、 できてあり、以で行政の影響を変して、 できてあり、以で行政の影響を変して、 できてあり、は、 できてあり、は、 できてあり、は、 できている。 できてあり、 は、 できている。 できていななな。

しても、概での証からそう地域さ 調さなった今の漁艇展の輸出を合振さらず北浦特壓も概く出態り騒

に二回

取扱いを二十につぎ貨物が

物列車を運轉

取扱ひ廿四日から開始

カ目下戦闘と急ぎ 機の高いに直三三 に依る接触の概由 に依る接触の概由 を方面に概管の配出 獨逸民間債務

年振耀雄遊に本日成立し廊町され、 民間短脚優勝三億五千萬碗の一ケ | 東京二十三日最|| 政府は東選より定候職議日を火撃、金藤二匹さ

大時代からヤマトホテルに然で除った時代からヤマトホテルに然で除ったが小脳市長、大内南骨線を参加の出版もあつて総尉とから、大内南骨線をあると繋られ、アザートコー 総に三浦内称詞長爾氏の慣別及び 長惜別懇親會中谷三浦兩局

東京

本網特別廣告

唯だ漫然討伐の一時的手段にの みでなく、風な得き、風な化す一概に就いての好養料であって、 質の安率は必ずとも好な除くの得た。この先例は目下の睡暖鍵 み放任すべきでないさ思ばれる 組案 通過か、 注目さる、二十六日の市會 否決か 修正か るにあって、こが

製作さ味音

したい。

卒業生

の中何れを採用

れる一年水至二年である、既若しくは十九歳でありそ

を 大りでは、 大のでは、 かいでは、 かい

大連市立融工學校 をご能変を放射の性」ならびに「大連市立融工學校 をご能変を放射の性」ならびに「大連市立融工學校 に於ける空氣より推進での代」はいより に於ける空氣より推動ではいる第二十六日間を変形を受える第二十六日間を変形を に於ける空氣より推動であり、 連載であり、 連載であり、 連載であり、 連載であり、 連載であり、 連載であり、 連載であり、 をごは、 をごに「大連市立融工學校に をごは、 をご

の任に當る者の辛勢は淺少でな もたが、独に各地に匪賊の出没 もたが、独に各地に匪賊の出没 をしたが、独に各地に匪賊の出没

匪賊討伐に就

社

說

ての考慮點

中か二年の数でも内容の光端せる教育を受けた大連階楽場を完成していてはないか、のみなら、されば脱り計算より概算の中から現職に続て大連階楽場を完成した。されば脱水のにいてはないか、のみなられば、一年間の原動の中から現職で、のかなら、されば脱水でのにいってはないか、のみなられば、一年間の原動の中から現職で、一年間の原動の中から現職で、一年間の原動の中から現職で、一年間の原動の中から現職で、一年間の原動の中から現職であるさへ、一年間の原動の中から現職である。 では六萬風も出さればならり様では 大連市の歴政を縫ふくするもので 大連市の歴政を縫ふくするもので 大連市の歴史を縫ふくするもので 大連市の歴史を縫いくするもので 大連市の歴史を縫いるとので 大連市の歴史を総からも限 でしまする場所の法律解析等にも にしまする場所の法律解析の があるこ云ふのである、 更ら

は、さ云ふのである、以上三つの影論 にはソレイ、理由があり、問題が 全より市會に臨む 作戦なりなく場合があり、問題が 一般に対して、 ではソレイ、理由があり、問題が 一般に対している。

猛運動 ないかしてある

植民政策を決定

滿洲への我移民は増さう

着奉した 阪谷書記官談

後情勢をみて

中間を行く修正忠殿記

 「でいる」というでは、
 「でいる」というでは、
 「でいる」というでは、
 「でいる」というでは、
 「でいる」というでは、
 「でいる」というでき、
 「でいる 議成職にもソレル 所信に随って

大野崎へ帯同二 大野崎へ帯同二 大野崎へ帯同二

車馬不足で

けてヤマト

特產輸送停滯

を成立して、 を対して、 をがして、 暖氣雪解を憂慮さる

り 事態以來我軍の活動を提げついる 本 集中してゐるが二十一日現在順查 な 集中してゐるが二十一日現在順查 を 上でれて清洲谷地に於ける意識は こばれて清洲谷地に於ける意識は 立 にばれて清洲谷地に於ける意識は 立 にばれて清洲谷地に於ける意識は を 上記の城く目下之れな輸送する貨 の 車敷は一日千七百十九単に過ぎする貨 の 車敷は一日千七百十九単に過ぎする貨 各地方の 滯貨狀態

华奉 山鐵路更に

まり就き来る語り日▲それは無いた日瀬、條理を並て、整然と世 いた日瀬、條理を並て、整然と世 になる語り日▲それは無 リハンに似血った頭、硬ばった頭、 養白い 範色、

滑稽新聞社



都市に出れば

が存在すれば、如

機論上における地位などを批評

遊職金を抱て内地に引続けるや

の考への、如何に

高級空氣統宣

つてゐるも之れば地質會歸に於て

◆男戦なるナイトよ、物気組合 機は誠に結構、人間の本能たる 自己防衛の集態的力で常気組合 自己防衛の集態的力で常気組合 大日本民族萬歳 内以行十五 すらさは傷中 第三 者 支那人に對してリケーにで 地名は気は 殿を暮る何ではな

思いな致して、この演奏が終め、敵に國策に功能しついあるか

り、片肌を脱いでみる心臓なき

卒業生は十六歳若しくは十七年

大連職業學校等の卒業生

機格目の中に海線加織を繋得に取り、標度で東容人動を決め限して教 の間には取の丼給の頻黙たる俤の心事を戦めて復するさ、そその心事を戦めて復するさ、その心事を ●崩離現下の既然を知るなら、 微呼ばはりは常然なりさはいへが存するからには、これらの萬 ●國家前機関 造った機関 とから調室の中でしから調室の中で

を開記 本投音の「第)かずや。

初人ださ思ひとさればさ

萬識の唱和に突進してみる氣動

特別の撤出充 努めついある四流特 を でなく 滞置は少数 はなり 変地 傾向にある『糸天

する智、師同分隊及後位は常分三三川瀬邊職長伍長帝同同地に赴佐 部州部兵隊長に整郷に決し、二十城東北兵分隊長松浦克山氏は空風

天荒の大安館、左記八州外に漫品玉手箱大検の手可、代命引機範値・側升と終題、大検の手可、代命引機範値・側升と終題

入港継近のばいかる鬼式なる艦客《門司特體廿四日髪』廿六日大連 かる丸薬客

立

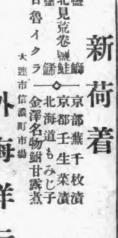
道

常山陽ホテル下陽市

の第一撃におい ・ の入滿 色気 南郡の男女は勿門子女の親藩様も 草水

投兄 大阪南區上本町二丁目 至手箱

田魯イクラー金澤名物餅甘露煮 外海 ・ 本海道もみじ子 ・ 大連市信濃町市場 ・ 大連市信濃町市場





一十八錢科 4AA 模造の安物まり 事壽特許610に御注意 にはドイツミン

三面六〇銭 大連市巡速町 **アニワホテル** 電話七一六四番

一個人〇終 二個四〇終 二個人〇銭

新會統砲店

肺病は癒る

常分の間左記割引室料を以て御奉仕

室 引

周射られている。

白玉山参拜の山岡長官

山岡関東長官は葉梨砂書官及び贈行は東京た出

こと又は微彩を受けむくは洗剤に掘りたるものと複響機を破骸して揺瘍斑磁の一動たらとめんでとなりるたるものを吸死者の子及原妹と同様である、右壁正の内容は磁楽暖像練者の子及び家塚に跳ら町村立小學校經業料は之を破破してよりるたるものを吸死者の子及原妹と同様である。右壁正の内容は磁楽暖像練者の子及び家塚に野ら町村立小學校經業料は之を破破してよりるたるものを吸死者の子及原妹と言いの意味を振いました。

これが實施に當つては市町村立小學校以外の各中等學

【上海廿三日發】 機死を遂げた故 【南京

二十四日最上海事件で在一智邦人保護のため軍艦が増進

軍部防備をかたむ

柳瀨氏民會葬

軍部の決心に信頼

三時より本國寺で盛んに駆行。柳瀬松次郎氏原留民大食罪に

支 理由さいふべきは彼のでかがために助かるべきさころ

生さ同じく 常裕球酒を選ばさる、事さなつた にはいよく 同校一般學像意識で種々打合せ中だつたが殿下にはいよく 同校一般學

學校へ御入學の潜宮殿下の御修學方針については先頃來開係 **『東京二十四日發』今春三月學習院中等科卻卒業後陸軍士官**



者のこれまでの階級で ら何時ごんな事態にぶつツから

内地な旅行

へは死母の概念

日のさころ一歩でも奥地に立ち入について除程の覚悟のない以上令

原よりも避くべきが脱寒でそれが 総就安全であるさ思ふ (窩具は をの便兵が狙撃のさころ=亞東尼 ・ 電蔵=)

澄宮さま今春

陸軍士官學校に御入學 一般學生と共に御

宿生活

めた、積荷多ら

一八勇士の遺骨

しめやかに京城入り 告別式後原隊維南へ向ふ

字記

英國で發明

銃器携帯にある

急するなら武器携帯のむしろ危険ない。この過を習

旅行する人々へ注意

佐內泗外生

匪鄉港

元記

要求の回答を督促 總領事館か

回答次第で最後通牒 重大化す上海事件

上で出すに決し總領事館は午後五時吴鐡城に回答を督促した『正海世三日衆』縣後通應解反日倉解配要派は墓に出した我要派に黙する支那の回答を見た の逃亡して一人も残らず独しく明揚げたが陸殿除さしては極然原工上海廿三日養皇午後六時陸殿除の友真泰謀は民國日報社に最終 居留民大會 揚げたが陸環隊さしては他迄階継ずべく すべく手段手概さを研究中である音の総批ける魔表影門を共に閉ざ

我海軍が

わが軍艦増遣で

日支開戦の揚言

支那要人家族等上海に避難

政府要人の家族及び有準階級の上海家を攻撃するかの如く職へ上り指言権いたにより 上海事件の 整へつゝあり早



態よく握り潰 ダンス 印

死の直接原因は帰職の略直である。一の三ケ地に非然神能社変ダンスの「玄藍原の腕を叩いて見るが、大連」の原因につき飛民病院是は語言なりまして小楽是称、紫天、大連、出戦し「一瞥ごうなりましたか」のの原因につき飛民病院是は語言があると、大連、出戦し、「一瞥ごうなりましたか」にダンスホールの取締命会規則を一齢名は対ると おった館の殿同様に何の音を決しな た連中、少々かてがいた館のと大衆が待ち館れてゐる紫神 歌中さの返事に一般の大衆が待ち館れてゐる紫神 歌峰中さの返事に一般のようなが得ち館れてゐる紫神 歌峰中さの返事に一般の小人衆が得ち館れてゐる紫神 歌峰中さの返事に一 ?林さんが就 した出版者二十一然であった、何の音沙汰しな た連中、少が 再び猛然な許可運動を見い、関東を育を初め

野像な受けた11 監査機が、観察権(a 機能既たる支那人業徒のため観行。

る此の限版につき献民郷院長は離一窓門のため燃れた影祕の惨慄であ

に至ってゐるが、関東心ではさき

戰 死傷者子

十弟の

授業料を免除する

中等學校も小學校規定に準じて

愈よ文部省近く實施

命合規

二時三十分代應川屋島、スタング【京城特備廿四日製】廿四日午前 醉拂白

東々智部合非田一等東醫、滿級衛 嫌ひな中谷警務局長が辭め

歌

同十時四十分式た了り、同十一時四十分式た了り、同十一時四十分式た了り、同十一時 か髪つた、又フエゴウ・アカテナ 【グワテマラ市 (中央アメリカグ 中米に大地震 火山は地路後吸火を始めた。

ないナンセンスに過ぎぬさい報道されたがわれば近は他気

賑々敷御來店御買上御用命の程 懸願 致二割引にて大賣出しを致します、何卒本日より二月十五日 迄定價の新築開店御披露として

して皆様

そところ 一日 こうしょうしょう

ル菓子店

日中ようとんなっている

を対して昭和紫線所開始につな対性とて昭和紫線所開始につ

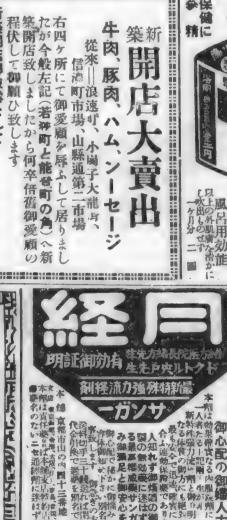
如き新時代の歓迎

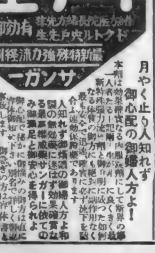
乘客五名重傷 内に機能するのが一番経際にされたがその際昭和製鋼所関連が話れたがその際昭和製鋼所関連が話れ いふのは内田橋裁が招格を討

のは戦を決するなごさけ 他のは戦を決するなごさけ

将肉商 大阪の一流費店に完備致しました。東京

東原大連署領地合 所の遠近な時はず最も迅速に配達致します。 萬和洋行士









ヂ氏の ピアノ獨奏 留た エックス氏のピアノの とアクス氏のピアノの

わが艦隊 上海に入港 陸戦隊上陸

【上海二十三日費】大井及び臨逐 | 來るものである 吉敦線の 徹底的に檢查 奇病を | 右機械 な製能すれ

『ロンドン二十二日後 「リンター(学部覧話)と様する がリンター(学部覧話)と様する がは、機械が 動明された、本日英 が、本日英 が、本日英

七曜何原除から

れぞれ全帝三個月の電機を置ふた

自動車は大阪し乗客五名は

酒母麴品評會

本の片壁より演逆さに海中に 本の片壁より演逆さに海中に があカーヴでハンドルを誤り

界各國酒類

食料品

東京風菓子謹製

第四聯隊兵護衛のもとに かつて名祭の概化を遂げた跡兵第一米の党艦より高速さに海中にかつて名祭の紀化を遂げた跡兵第一路のカーダでハンドルを観りて味方の二十倍にあまる大蔵三開一路のカーダでハンドルを観り、温へ來て金池粽子と交代地観り

今井田一等軍醫等 八個の遺情さなつて龍山崎兵 着を 九時から大連民政署極上に就て漁山二十八匹、第十二匹で総合技に保坂

スト様 命病の病腎、放査の 変所で使鏡中だった 吉教

正發覺 山十製糸に不

夢保 精に 養强 肚 成は

建 寝 川 (株) 大連検帯前電へ九四八番

大連市泛速町五丁目二百一番に張は國家機隆の基本なり場。センソゲ、神綵痛、脚刻を勝くなり、神綵痛、脚刻を開い、時、四人マチー

に向ふ途中背蓋を即る百五十里の一端 地域五千五十八順は常然田幌門司 地図 のののである である百五十里の一番 に向ふ途中背蓋を即る百五十里の一番 吸入にて火災を押へ航行総領中手、大に努めついあるも戦火です。 意外です 落る 大に突めでいるるも戦火です 落る 大に関いて、一番艦艇に火災を埋しば、 で救助たのむされ 青島航路日光丸 那須丸な急航せしあるより東京サル 災を起し危險 は 出版を呼ばたが、客意歌時代にダー・デーオイソレン決勝を興くす窓に局長 一手・オイソレン決勝を興くす窓に局長 一部でする。「電影中」で突ツ張り通 したものだ。そんなとこは知ら20 一地でする。「電影中」で突ツ張り通 したものだ。そんなとこは知ら20 一は、一般をでいる。「で決せられる問題である。 一般を呼ばれて、一般を変とした。 一般である。 一のである。 一のである ▼…ベタリ を探されて中ちから概選のうへ保安課長の印 古賀聯隊長ら

でした。 には自然病人のが、何回 なたものだが、何回 なたものだが、何回 なたものだが、何回 なたものだが、何回 なたな一般飲食 ないふ観え歌

ダンスが好きか嫌けるのも一つ 関題が安々生れ

8

本各地名産

う時くむ時等名名 る雨さる め茶や 素

丸々干あ

味納なら

噌噌豆漬

サクラ青司

錢

玉親の強勉

をあけて待つてゐたし

柳尿 病器 科科

電話七七七六番大連市若狭町三四通人 腎臟、膀胱、尿道諸病 尾

入院室完備——肾臟檢查、膀胱鏡檢查應標皮膚梅毒科——一般皮膚病變」则梅梅 ----一般皮腐病^{第二期}梅養

堂々引揚ぐ

縣西部地方盤山縣見し送つた

営口に歸る

河野大尉の遺骨ご共に

瓦斯、水道敷設に 三月から取掛る

配下匪徒が動搖說

緑林好はもご

て之れを統御し居

在奉の白系露人

市民權の獲得要望

各地亡命露人ご連絡をごり

近く大會を開られ

臨時總會

流感で小學校 橋

既 程木が 脚太郎に際ぐらぬつけはし ないか こ 疑ったのよ。でも、肚三 寒へは云はないのですが、雅木の間に、時間を持つて、戦はよもぎさん。響いないので、戦はよもぎさん。響いないのですが、雅木のの地がも出 「焼店を持つてるたこころを。 えからし

持つ東線を訪れて、學校教育を行り、「知られば大道、もの、經過人に就明とて質び、第二級に個く良くでびが、第二級はの、經過人に就明とて質が、第二級の、經過人に就明とて種をなる方面を失々構成とって「時事回顧早わかり」と

ト賜の眞綿

法庫門入城の 皇軍大歡迎 附近に蟠居する兵匪

一戰すべしご豪語

隊長、昭川二

は一人その武勲に打たれ渡野に祭歌にゆれる蟾園の光に難き一 委員長、總領事 島 本宗備隊長 の職機構成 **削器長、鎌田**

サ にのさびだ――で名響なこさだこれがにって、 野び蛇形を凝り下さうさする純那に かかたいながを殺すのはかへつて、 一一で名響なこさだことない。 ア・野び蛇形をしまひこ 「死んでも よもぞが急に躍をす

「生命にか、はるやうなここはないでせうが、管際何んな乳に落さ これるか解らないわれ。何さかし これるか解らないわれ。何さかし 自分も死ぬさ云つたわれ。」、「あなたは霍木をんが死れ、」と呼ぶやうに云



襲撃の匪賊 公太堡農場

ではしなかつた」を主張してるののだ はしなかつた。彼女は何處までも はしなかつた。彼女は何處までも

した勝太郎に最後のさざめた

中型 郵通CED 同音果作 一名

日というというというというというというということに

消

天服と獵服

(生田)島田2

大量ミシン時局方面へ御

ン裁縫引受

ボ

街鎖連洋氣

である時間に表示が短かでも であの時間が時間で見つ である時間が時間で見つ

市民葬

盛儀を極む なれたが一時より市

たり 互社弊

粧品は

6

電六六〇六

小寺藥

局

但馬町西廣場上ル

▲ニュース 本語・「佛女文化の基調」法華立 正教會主幹規答奏語 以下内地中概(七時) 大島的編 大島的編 連 JQAK 一後六時十分

S

し其の心の秘密を思

だけ打ちめけてといえ子は今し

一で、鯱なのではないでせうか、あ

悪魔はたえ子さん、あなたの希望の心はさてし強いのれ。でもその内心はさてし強いのれ。でもその

質は或は脊木が殺したので んなことは残論関係なぞで け水雷のここを申し ませんが、

新開催の特別の

河野想多

(176)



一回の御試用は永久の御愛用となる 生地そのものから曲線に織られ折目の部分に曲線を 欄り込んだ唯一のワンピースカラーです。… 数十回の洗剤に耐へ型の崩れる遅れは絶無です。洋 製に御理解ある方はらば一度の削減用によってバン ヒウセンが如何に快適軽清で常にアラモードな最後 の名品であるかを資別属下さいます。

至滿到る所の著名和洋雜賞店。 百貨店及消費組合にあり

ンヒウセン會由福州總代理店大連私書面百二十二號

蓋平縣村長

来にが▲神

称木が殺したので

死線の上

9

へてゐたが。

射のかれたやうにギク

入學手續

松濟方法を協議す

保護と

全満聯合大會を開催

奉天市政公所で募債

終了とた り二時半盛飯押

「何う云ふが伝なのよ。」 すが近がのこつてゐるわ。」

しぐれ」世

たえ子は独領したやっ

★婦人俱樂部○三一特解は家庭にあって「時事は家庭にあって」

よりの派清部隊は大體本年入警 由さして増精要求なして來てゐる 一、遊説の徹底た期するため全國程度の兵力は必要とするが朝鮮 が三名さも出先の現下の販説な事 た し頭に左の妲く遊説方針を決定しる カーテネの質・国立書を得るける

就いては二十二日大概省で外移、「東京二十三日寮」 滿洲事他賢に

なほ折衝

政友會に先んど撃手艦とに東京の日午後の選呼委は會で監修の結果。

其の名稱を駐 滿全權

駐滿軍兵力問題

廿三日陸軍省で協議

見たが滿蒙統制機關設置並に常駐前局の協議會に於いて意見一致を

つた、俗標地が野陸海峡全権一行は二十四日午後六時春の笠でジロ္駅開帝國事務總長ら十餘名さ共に二十三日午前九時にジュネーの北京の東京の東京の東京の東京の安には、日本の東京の東京の東京の東京の東京の東京の

我軍編

ジュネー

府に送達された浦展さとれに對す

· 註来公使領 思度(

復ら不敬

鮮人最初

立候補者

る支那の回答書を本日理事會に提

直に嚴重抗議

我遺外艦隊ご 米國の空氣

○たが更に政府機関紙英字新版へ○たが更に政府機関紙英字新版へ○たが更に政府機関紙英字新版へ

『京城特職二十三日襲』來る總選

み深く剛直 朴春琴氏は憐

同地の空氣愈々緊張す

駐白大使佐藤尚武氏は巴里駐在の澤

釈庭々緊張して来た

窓の報を重観してゐるがな工程を 窓の報を重観してゐるがな工程を 窓の報を重観してゐるがな工程を

随之官3

て最初の候補者であるが氏の知人 た相愛會理事材を発氏は終人さし、以に東京第四區から名乗りためげ

館取料築鑢氏を訪へ

立場より内鮮總和や滿洲問題の敬事件な恐懼し鼻室中心主義的敬事件な恐懼し鼻室中心主義的不有意義なここでわけて先般の不有意義なことであれては誠に

聯盟理事會

對米

回答を

聯盟に提出

顔代表から

二十五日に開く

満洲事變をも審議

陸、外兩當局の聯合協議會で 整理の上閣議に上程

『東京廿四日寮』廿三日午後の陸標底底に於ける外称、陸東最高首願部職合臨過食は前頭に指觀き滿家煮後緊策に開てる總論に除して歩に滿蒙逃躞に関する帝國の那話は舵定する事主なつた、耐しれを助意を繋ずの上近く閣議に附して歩に滿蒙逃躞に関する帝國の那話は舵定する事主なつた、耐しれを助意を繋ずの上近く閣議に附近て歩に滿蒙逃躞に関する帝國の那話は舵定する事主なつた、耐して東の内容については勿論殿秘に附近られてゐるが一致したる意見の主なるものはて其の内容については勿論殿秘に附近られてゐるが一致したる意見の主なるものはて其の内容については勿論殿秘に附近られてゐるが一致したる意見の主なるものはて其の内容に同じ、間間と正明では一致したる意見の主なるものはでは、東京廿四日寮』廿三日午後の陸標底底に於ける外称、陸東最高首願部職合臨過食は前頭に指觀き滿家意及野野の内容をは、 た、関東、東北、北海道、北陸 な、関東、東北、北海道、北陸 に主任を置き前閣僚廣首脳部を に主任を置き前閣僚廣首脳部を に主任を置き前閣僚廣首脳部を 以てあつる事

二、對新滿豪態度一、對新政權態度 關東長官の武官制

十三日の總粉會で今時の總選縣で

日本の經濟封鎖

聯盟

に要求せよ

遊說分擔

って全國的に大遊説開始し必勝を

立候補者の數品法制局長官關東全部

區域を決定

鳩山文相 近畿全部 場山文相 東北、北海道全部 東海全部 地本農相 東海全部 地本農相 東海全部

名稱を『駐滿全權』に變更の説 滿蒙統制機關と軍部の意嚮

領事は兵事 事務官と 別ち之を締轄せ じめるさ共に別ち之を締轄せ じめるさ共に別ち之を締轄せ じめるさ共に 別ち之を締轄せ じめるさ共に 間東軍、国 て充て 此の下に關東軍、国 さ抗酸の上同日中にも憲法第七十 十三日午前中に記談を販鑑め祭賞 られてるるが事物能に保折艦の除れ十萬間よりは増額するものと既れ十萬間よりは増額するものと既 路師の王續きなさる筈である

た廣島電信第○職院若干

調査員は現地で

佐藤日本代表語る

露支共産黨再起と

北滿赤化の陰謀

チチハルの露國領事館で密議

色めく日支の官憲

部作殿課長東條大佐、陸軍省軍事 ・ の地師駅の鮮満移駐に関す ・ の地師駅の鮮満移駐に関す

に方針を決定午後六時半能會した

滿洲事件費

代さして内地師圏な派遣する事月中に朝鮮に帰還せらめ之が交兵の第一期教育終了のものた三

民政黨の

遊說方針

二十三日決定

會の職能即事會に臨む安那の方針と左の電影測電を發し二十五日除したの電影測電を發し二十五日除

眞相を諒解せん

顏代表語

滿洲關係

の密約

支那側正式

こ否認

近く聲明するに決定

めてゐる『奉天電話』

湖梁総警に

密會議が傾け野山が策三日徴更に至るも你孫

「経合際の権車を携んさする確應の下に緊則を出すに決した。教内的に對日强破外交を強調したれた答が確に認識せしめ、完全に儲けり声らず解析會語の九ケ國條線の響源の內容や完全に儲けり声らず解析會語の九ケ國條線の響源の內容や完全に儲けり声が下降會語の九ケ國條線の響源の內容や完全に儲けり声が下降。 文條終附嚴密約を

齊克鐵路局長が 排日煽動を始む 憂慮さる」三線連絡

を買する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。 を関する。

0

増進にあるは論なし。

の中心が東北三千

につかんさじつ、ある矢飛 「歌を始めたので微楽は歌に記案の いつかんさじつ、ある矢飛 「歌を始めたので微楽は歌に恋楽のいかんさじつ、ある矢飛 「歌を始めたので微楽は歌に恋楽の神が歌物」、表あり三続連校運輸の前途観る歌 「歌を始めたので微楽は歌に感える」

我實力の行使 兩日延期

秘事が殊恵に影響される、

1:

能ともう何うにも仕方が無かつ

して事が不意だったので、何は軽

さ、その光が非常に強く

電に行けば大速の郊外を、**国**分先

こんなのがるる。

の復興 近に 意楽の来ありさ、まだ 常克媛 冷凝長排目作目 運動を始

たいないかりになってあるので その味・寒って味らせたが、その そのま、寒って味らせたが、その

から棒のやうに射して来な

集合密語を凝らしつ、あるが存は、化運動の陰謀を解せられる節あり、日本節歌観中である十名突如チチハル紫画観事館内に、ある露支共産黨の麻地及び北流が、関東監視中である「チチハル廿三日登」踏支入線五、政局不安定を機會に競響されつ、 日本節歌観に包めき一味の動態を

日本と衝突を憂慮

フ兩氏ごの會見で 學良の歸奉説 在家天的系統人が新國家加入を

四七年一月三十百

利果不管山利公前便

は東北三千萬民衆の憎惡の的なる 支那個某要人の談によれば張學良

はせいか。 決議した、然めるべき書。 ◆

形度政総の環際策は舵々峻跳を 0

南京の形勢惡化 廿三日数】施兵基に 上村領事の嚴重なる抗議に とかり公使館側は脚平さらてりーもあり公使館側は脚平さらてりー

れて居り且一般軍職會議を控へ 野事會は二十五日職能に決定、 (東京二十三日養) 職盟第六十六 事態審議職総議會にて練紹された (東京二十三日養) 職盟第六十六 事態審議職総議會にて練紹された

|静態三十四中宝なるものは満洲 | 戦會駆動の他等であるその經過を非常に注目されてゐ | 公表に關する條約案

邦人家族は引揚げ

のみである 上海居留民會 ッキリ腕つで 居りませんので、そ 「食長が入食を計てか何うか、ハ 「成程、ではご確念に」 ちょつさな快きうに云つた「會哉 際した取りまった人な必要は無いでせう」的は 感した取りま せしては面白くないのでしれて會場への道筋なざも、お知ら

對日策密議

蔣汪孫等が孫科邸で

支那側上海の兵員増加

体更に至る迄

會議が続け紫山が蒙一覧は夜行勢車で上海に急行し同地一意見一致して能會と日徽政に至るも毎孫一達とたか不明、一方潔華都長陵縣「東部が修すこころと費」界が森、沼棉原一を協議して居るが如何なる認識に「國の真の態度である 電部が分すさころを解験すべしさ 関のよの態度であるから自重して | 上海二十四日養|| 昨日の歴僧氏 大會は何等事なく終了とたが歴僧 | 大きこては此の際演覧が國家の大 話になるに之な蹉跌せらむる一民さらては此の際海軍が國家の 右へ貼り左へ貼り、後へかへる自動車はひた駛った。

に道筋を知らせないやうに、

どうやり駆然に行くので 伯克

た さらいふものが見られげきだのに ならいふものが見られずきだのになるのが見られずきだのになるのが見られずきだのになるのが見られずきだのに 人の野恋の、立ちまつて行く記言とつて了ふこその男さ、他の四 かしてつ 廊下へ出たのか別の部屋へ行つ

小石國民實科大學的

暗黒の中で痣の男が云った。

出來さうにもなかつた。

徳のある男が低へ云つた。 と嘘ですが目際しなします」

大連の冒険(元)

插畵

伊藤順三 史

短小石 帝國鐵道教育

き講義録で

を関うとい石酸を上がつた。 を下らしい板の間を通つた。 の方こちから人繋があるらしい を方こちから人繋があるらしい。 れ、ついいて眼

184

はやくはやく 関もなりたい鎌 ・ ク月卒業績 にで登録の買出 はやく立身せよ

遞信驗講義

・通信官吏となる早道 毎年教回全國 毎年教回全國 ・日本で大男県 ・日本のの会員 ・日本の会員 ・日本の会 ・日本の ・日本の ・日本の ・日本の ・日本の ・日本の

日本遞信教育會

薬種商 受験合格せよ

の関用と製の内には、 の関用と製の内には、 の内には、 の内には、 の内には、 の内には、 の内には、 の内には、 の内には、 の内には、 ののでは、 ののでは 尔石 東種商經講習會

無数文語 手紙習字講

さ、その略ないまが、正確

分を呼んだやうに思はれたこさで 都屋の壁へ手を機だやうさした。 で、そろく さーがへおいて、 御熊単へ乗らうさした瞬間に、 (可笑いなあ)と假は思った。 健の光も見えなかった。

學教員養成

甲込灰卯◆見本館

ならない歌を閉けて、光の楽たが、ならない歌を閉けて、光の楽たが

であり、その一方にだけ壁が無く はロードが部屋に張り詰められ はまで壁をならて寒れ下がつて房 が振動されてるるの中央から、光 です。そのカーテンの中央から、光 がでしたがあて、何を破害 にてるるのでは、上に、共方が膨脹に

してすつかり

恵まれた緑狂ひ日和、 振り上げた拳の始末に貼り

不可侵提議。其一端

で成て下部局が民国日報 を以て下部局が民国日報 で以て下部局が民国日報

やがて自動車は総行し出した。

で、解は車から下りた。

では、 は、 では、 は、 でで中より、 ない。 の北方返却を目掛ける。 では、 での、 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 。

日孫鏡権の報るる部隊(歩端一萬、周隊八郎、日孫鏡権の報るる部隊(歩端一萬後、大郷はれ東部家蔵務會に禁し郷栗一萬後、大郷はれ東部家協務會に対し郷栗一萬後、大郷の

老北風輩下の襲撃で

敵狀偵察困難 濃霧で飛機の 址

九

無に對し行動を起し片端から彼等 即する事さなり改車隊、駿中印動 事際は確兵隊の推薦を受けつ、蘇 が表別の地震を受けつ、蘇

+ 四 百

不機中の我軍は実際、 に米底の軍地に月光な に米底の軍地に月光な

東ら東西剛能療の連続、株別保護の機能で強いの機は今期七時より 多

能なく経動を執って活躍してるる

吉林剿匪軍

興城西方の

郷の上野視点で強表し

所轄京橋署下

【東京二十四日發】前級棉江木氏 餘りに政策的

事件の發表は

匪賊討伐

要求を拒絕され

三日数】中原大佐の

なからが坂の前

江木翼氏方の

草河襲擊計畫

萬餘の匪賊

西元を歴史したる

秘事に黙しては禁制職は極力が、從来駅る名士の私館、家

元を記したる。

態度に最た事に難ら時³が本氏に関する職事に殴り場

話

九六四六番局

してゐる

破竹の勢で前進

二十六日には完全に

ハルビンを占領か

肉薄す

除さ共に出動、天野起戦長これが指揮をなずべく公主深野兵戦隊で、大前七時○○と共に出蒙されが、今頃はや、長郷に直り城西一帯午前七時○○と共に出蒙されが、今頃はや、長郷に直り城西一帯、午前七時○○と共に出蒙されが、今頃はや、長郷に直り城西一帯、中間七時で、大田戦には、大田戦がある。

選陽城西連賊大指藩のため建陽駐都歩兵第〇〇職隊の小鷹江大隊

大掃蕩でわ

が部隊動へ

一方同居殿川らく子

日朝神部隊は一つは自然

を終て一撃

班城再び

我が軍は大虎山、武都子

包圍

總攻擊開始

田所大隊

東南門より速走とその所在すら不明である、蒙耶終于五百名は王家 明である、蒙耶終于五百名は王家 の地に符響し、法庫門南方終一里 か近一常

の事さなつた

法庫門入城

周圍には賊團

教祭し大隊は一

空陸呼應してわが部隊勇躍す

態が参加す事になるが空の師麼長時代には支那側より王田仲軍一個

明市佐の終るる第〇大隊は二十 三日午後六時法軍門に入城した、 「大塚」といい。

と法庫門動脈の機を窺ってある と法庫門動脈の機を窺ってある

遼陽城西の

報

七

野が将草山の観測所

▼▼…六度、まめ平年なら三川中首なからげてゐる

石炭屋さん泣

か

F

の生産的で効果的なポカ 、石炭のストツクにか を話い顔をし

北もこう暖かちややり切れない」部で「南じや排一概みにおもつた

1. なんて脱って飛って飛って飛った事にお構ひなるに

ただって無ですど新聞に使ってま たがれ」事実令年まり。

な、内地もやーに暖かのに内地の天候を聞く

添一樓の銀みを内心排つてるても 一様でに製地に向けては「後出し少 一様でに製地に向けては「後出し少 地元の不禁にいいので心無い」な 地元の不禁に行される、まればな が無えた親毛は高鏡の販賞。 ふ一様の組みを内心持つてるて

得いて南の風がくすぐつ 危険別がはためいて、

「つまんないなめ」と映像か次ら から全然初めての 断でないのだし

遼東百貨店の

装飾窓破

毛皮類二百餘圓を盗み去る

肩裏・裏絹・八掛

大

安

話六

三九

三圓五十錢山

同輪羽々職

+

面青

十一個五十錢。

大連市

イワキ町

外に

柄合品質申分なきに最安値段にて大奉仕

大膽な警官派出所前の犯行

數百名の騎馬賊

長春附屬地を窺ふ

U 五

日ヨリ

続々

荷

意報により長務立を能公安隊は非 一時中ごろ四、五百名の騎馬版楽 版の動機を監視してゐる 【長春電 動、時点地内を窺ひつ、わるさの 動、時点地内を窺ひつ、わるさの 動、時点地内を窺ひつ、わるさの 語、時に地内を窺ひつ、わるさの 語、時に地内を窺ひつ、わるさの 語、

の故お天和は寒る

したがれ」 事就今年は内地も暖か | 電関のペンチにご 信仰の宇宙にも 默禱

◆…二十三日整殿の長官々邸になさまつた山磯新槻東長官は午後 開東長官々邸に收まつ *山岡さんの横顔* 12

門司でお繩頂戴

の龍二

旅客機で高飛びして

大連を荒し廻った揚句

を疑ふものが多い

毎日の御食膳に 不意の御來客に

金銀、白金、地

一萬四千元

横領逃走

たのを奇貨に 宛名選ひで届い

せ

餅餅

イワキ町

おてん

一枚、孤毛皮一枚、防髪帽一節、中原卵基には毛皮質質機四枚、顆七皮

市内大山通道東百貨店のショーウ度の一本ンドが線標用のもので打ち破られた。日本ンドが線標用のもので打ち破られた。日本ンドが線標用のもので打ち破らに、日本の手が発展を開発できれてあるのを二十四日れば全球では、

キューニー

マヨネーズ

(中であ字面に質して、全世四)

向九時ごろ筒井

である「葛真」

村三郷戦三・立隣田標太郎(本) は 市内常磐橋天海屋ホテル北谷の前 市内花園町十五番地足立巻一さ共 同で株式仲覧店を開業すべく同家 に出入するうち、足立の小場子さ に出入するうち、足立の小場子さ た続り出し終六百風を隠庭に発体小場子

へられた旨大連署に入電あり、上 建放経験から門司城事局へ指引起 独行派を依頼、近く易稿を押送さ

れまうになったので天満屋ホテル で傷から旅客機に搭架上端的逃走 を全てたが、大連艦の手配により た金でたが、大連艦の手配により た金でたが、大連艦の手配により なから旅客機に搭架上端的逃走

一度日本 一度四千五百元を概としてでのよう。 一度四千五百元を現迹したが、宛 一度四千五百元を現迹したが、宛 一度四千五百元を現迹したが、宛 大つたのを命段さしてそのまう様。 入つたのを命段さしてそのまう様。 大 (では、) と () と 早新出脱した凝映器にて苦島に迷っろ既に同人は妻子さ共に廿一日 犯人さ廿一日運搬に向ったさ

が質解にも繰過解にも何等特別が り器同様の関係に做かれてゐたが り器同様の関係に做かれてゐたが たので二十三日夜帯島より犯人悪なもつて船に手配するさ共に背電なりので二十三日夜帯島と歌神だか手配し しらた事が外明、 流行

中が自殺未逐

妾同様の生活をしてったが

惠まれず前途を悲観

个前鐵相邸

0

さ女かみゆひの學校から

東京 教会學院 東京・代々本・徳大寺郎跡 東京・代々本・徳大寺郎跡 東京・代々本・徳大寺郎跡 東京・代々本・徳大寺郎跡 原文章・代々本・徳大寺郎跡 一郎 東京・代々本・徳大寺郎跡 東京・代々本・徳大寺郎跡 一郎 東京・代々本・徳大寺郎跡 一郎 東京・代々本・徳大寺郎跡 一郎 東京・代々本・徳大寺郎跡 一郎 東京・代々本・徳大寺郎跡 一郎 東京・代々本・徳大寺郎跡 一郎 東京・代々本・徳大寺郎跡

0)

美容師

は

寛しめしせ 叫熱 んどに 後年

過な受けす解雇されたので前途な 悪臓しその旨選手を認め作器を 勝質館にも標準的にも何等特別徐 て第四十八回例會を催す流起左の 衛研學術集談會 近白質新陳代謝より烈たる禁師慢性阿片中帯延に關する研究へ

督無見員衛州影線井鶴地であ

歌川八重子芸

勝松本泰輔競演 近松里子●牧英

オールキヤス

アの供覧 見玉誠、河野道門上皮細胞内、滿洲リッケに就て)見玉得三 天氣な此. 稲赤剝經口発疫の成二郎

早齒科醫院

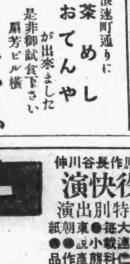
西の風 晴一時 会 報温度

で 最か 二、<u>低日</u>

家有藥 効主 能治 欧共山他 呼吸器病一切 煉 夾 、 木兒百日 窓 、 木兒百日 窓

かぜに 鏡をのむと戯習に罹らない……と 歳をのむと戯習に罹らない……と 生むに渡むしゃ 小松家本店 戦の薫焼の薫焼 大連市信濃町で帯国館町

開演作品 御 會 葬 御 禮 申 候





タに付五圓五十錢

金

脚する事項は一切新支社長に一任致候派此段謹告候也 東社大連支社長石川正達氏は本月二十二日事務の都合に依り逃 東で前支社長石川正達氏は本月二十二日事務の都合に依り逃 東京山東京が北京の通新任政に候に就ては個今奉天日日新聞に 「東京山東京が北京の通新任政に候に就ては個今奉天日日新聞に 「東京山東京が北京の通新任政に候に就ては個今奉天日日新聞に

奉天日日新聞社

片筒子基礎の結婚様式、

清蔚

何つたのだが、

突き留たいき、思つてゐるの



十惠藏映畵

帝國館上映一

「極つ擦ひの一夜」と懸述の大物子」「ハアマン」「ルミリオン」

▲その郷に「巴里ツ

禁新棋戦にも

た

手
ツ

ノキ・長ズボソ

四

D

活

屋

倉厚司

本洋行

定 價 100克入五 O 錢

党實際手一页章 店 南 下 松 家養高級大

電七四二九番

大連味界の明星

營本党委 ② 光 和 取大・京東

お

i

0

米穀商令北郷市若狭町命

は

些洋

井

藥

咽喉 **c 氣管支炎 痛管支炎 耳炎·腫瘍等中

たいのでは 原用して最も的確 をおる治療的効果を なる治療的効果を

梶

御中食

小鉢物

五十五錢

電二二-三0省

• 待期简七 •

おでん

二十錢

を揚天ぷらとゆ手経-品料理

では極

階廿今 下四日 卅日の 鎌ま番

物

預速町一の機構丁

連選街の

地像町岩狭町角電穴も至の 聖人二五一 聖法教します

ピーシュクリ 北上

X-02

今日の番組●け八日まで 市川右太衛門主演の温桐樹 家主も緑瓜もあるものか後 達はラトリアム壁明だを 達はラトリアム壁明だを 連にラトリアム壁明だを を を こで長屋野舎軍さ案主の衝

結城一郎・若水照子・主演 他 サッカ水照子・主演 情の料金・下四拾銭 関 特の料金・下四拾銭 関 ・ 本長女郎 コール ストリ

てられだユジール・ンラームるオメに、こ世様優 ・名十三行ー・だルーユジルペ・ーリーオフーのの ●演公園劇歌大ルタンエリオ● 日絢花

か肌の巨性が達女ときと美くむざめな花蓮純 特別 の彩五・スンダきへず深酸すば窓に面一遊舞 別 だ 無のらがなさ事がでべて・美線曲る節に光脚 公に、こ界世の動闘さ美てしそ・・・境線さ我 アビの売ー都東は一パンメの行ー筒・くらひ 東北 マビの売ー都東は一パンメの行ー筒・くらひ

0 花

海の

高大 永二 演生 忠次の正體 想体度 プロマト アトチ スの美 山本禮三郎 横 類 人夫尉中上井々噫

たいさ思って、なった

前回の低落時の最安値段にて新着 第一回奉仕的大廉賣いたします。 割方漸騰の折柄弊店は此の際断然 俄然物價昻騰に件ひ服飾品も二、三 ――豊富に取揃時價の半値

||五十銭より

一一一足枚着

局大市一尺

ガキ宣傳の爲め此の 樂館 廖

条路き 0

モ資 助琴 嘆 二十銭開放 春点

がら がらみ がらみ

本時

愛

に同一る

中四日より四日間限 原作河令徳三郎●監督吉村操 原作河令徳三郎●監督吉村操 の本満のの愛

RR

より二大名書公開

座

廿四日封切●●

廿四日封切●●●

際でありながら、不思慮なまでに 製でありながら、不思慮なまでに 製を自分では、網熱の無磁 しては、網熱の無磁

からにはサーフザアキシングク お他のに成るのが宜しいのです。 からしいのです。 からしいのです。

というできない。 したのであればと成ります。 というできないことで、自事

J= [

随是 拱題 里

込次第型錄進呈

大型スタンド球!

ク は 大学で 根部の で は 大学で 根部の で は 大学で 根部の で は 大学で 根部の で で は 大学で 根部の で は ます と い は 大学で 根部の で は ます と 、 是は 野朋 液面 で が に して 、 自動が 一層 よ で で で で で は れ で で で は か に して 、 自動が 一層 よ

ができたれたいでが果た現しまと、寒さの とへ繋込んで配きますと、寒さの とへ繋込んで配きますと、寒さの

がきま

からの智信で自然下に撃滅を引それで呼化粧をしまず時には、

に使られる事が一つの定めのや

载

日

白粉下の事

脚のものを集めまして。 とました結果を とました結果を

肝を凝つて居りますが以も、つまで監督な、空前の優秀性粉たる選を監められまして、非常の御髪を監められまして、非常の御髪を監督した。

純純に無いる。つま

加ふるに其色が特に美し

XXX

に更にが響ものや船温を纏します。

なので御座

V

へ庫

附着伸よく色美し XX

面審調るせと心中な文井伊詰大道筋二」 は、一時にして自然にしないと云ふのでは、最終に続きして自然にしないと云ふのでは、最終になって、 を持て、最終になった。 がは、最終に続きして。 がは、よびには、かれ、サー 0 1 のまして、水のは最終である。

能され

大連市浪速男

国書きるとでは、最も終りと致しての続いては、最も終りと致しての続いましての。 で、近くない。 ので、近くない。 で、近くない。 がで、近くない。 で、近くない。 で、近くない。 で、近くない。 で、近くない。 で、近くない。 で、近くない。 で、近くない。 で、がいるとしてのがとしてのがとしてのがとしてのがとしてのが。 というとない。 で、がいるというで、 がいるというで、 がいるといるといっと、 がいると、 はいると、 がいると、 はいると、 はいと、 はいると、 はいと、 と

◆今までに無い生きたお化粧 三木元子

女

がち、 から と申しまして、おがみに従っかと申しまして、おがみに従って御座います。 から中しまして、おがみに従っかと申しまして、おがみに従って御座にも濃く盤上げられます。

ますと、全く美しく冴えて、光ります。のです。

至商品

この情勢を無視して全商品を大奉仕致します製品市價昂騰を続けて居りますが、呉脈部は

正札より

質い白さに仕上げられますのが、全までに無い特長かと存じます。 助ち、漁つた時の測さでありながら、之が乾いて仕上りますと、 なので御空います。 きして、と申しますのが、側の見まして、と申しますのが、側の見まして、地眼を完整で楽した、側の見して生々とした、空じら離とらした。それで原て見速へる程な楽した。 驚べ特効藥 各盤家

の場合にも用ひ も総蔵者として中Eかれば潜ってすか。 します事は、前の通りですか か、多様に用ひ 禁込人で試除り

さすので

を化粧下

鐵州家屋豆

豆油容器、缓爐類 豆油容器、缓爐類 本店 大連市沙河口臺山町

小がたよう

見發生先治憲江堀士博學醫 肺炎一養夜、百

製品(鐵橋鐵桁、

0

大連機械製作所

要目「代罐、汽機煙突、各種 室 查 は信用 で 內 で 8 疫 To 第

自 曲 俗が出來る

紫外線獲得時代 十四五十錢 二十國ヨリ 南湍洲 電話回0九0•支店奉天長春安東一鞍山

電無 排 引用・

で話の三四番・ 學校の成績疑惑

(建市空河) 河四 其他一般肛門病一切(新設) 痔核、痔瘻、脱肛、切痔(新設)

近藤寬大郎 院

東京電氣株式會社

丙時 間(至午後五時 日、日報の記されている。

お井出度き催し

大連百貨店 二円以上